

〔資料編〕

目 次

1	将来人口	1
2	ごみ発生量の見込み〔施策現状維持〕	2
2-1	推計方法	2
2-2	家庭系ごみの予測	4
2-3	事業系ごみの予測	19
2-4	ごみ発生量の見込み〔施策現状維持の場合〕	22
2-5	ごみ処理量の見込み〔目標達成時の場合〕	27
3	排出抑制・資源化等の目標設定	31
3-1	家庭系ごみの資源化拡大	31
3-2	家庭系ごみの排出抑制	32
3-3	事業系ごみの排出抑制	33
3-4	別荘ごみの資源ごみ収集開始	35
4	処理形態別人口の実績	36
5	処理形態別人口の予測	37
5-1	公共下水道水洗化人口の予測	37
5-2	農業集落排水処理人口の予測	37
5-3	公共下水道水洗化人口・農業集落排水処理人口以外の予測	37

1 将来人口

将来人口は、「第3次 北杜市総合計画」【素案】の将来値を踏襲するものとします。
 なお、中間年の人口は等差的に結んだ数値とします。

目標年度（令和13年度）：

$$44,087 \text{ 人}[\text{令和12年}] + (43,595 \text{ 人}[\text{令和17年}] - 44,087 \text{ 人}[\text{令和12年}]) \times 1/5 = 43,989 \text{ 人}$$



資料：2020年まで総務省「国勢調査」※2020年は速報集計、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30(2018)年推計）、北杜市人口ビジョン

※青色の数字は実績値

出典：「北杜市人口ビジョン 北杜市総合戦略」（平成30年3月 第2回改訂）p22

資図1-1 将来人口

資表1-1 将来人口

(単位：人)

	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)
将来人口	44,091	44,087	43,595

2 ごみ発生量の見込み〔施策現状維持〕

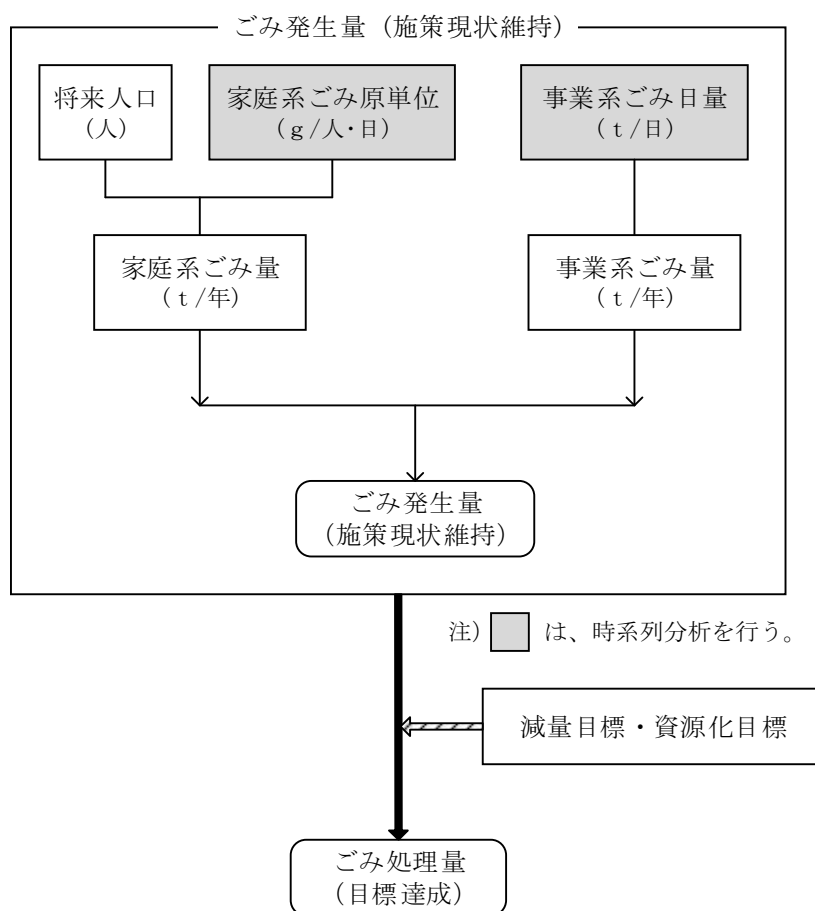
本項目は、現行施策を維持した場合のごみ排出量を推計します。

2-1 推計方法

基本的な推計手順は、資図2-1に示すとおりです。推計するものとしては、家庭系ごみ原単位（1人1日平均排出量）及び事業系ごみ日量であり、原則としてトレンド法（時系列分析*）により推計を行います。

家庭系ごみ量は、家庭系ごみ原単位の推計値に将来人口を乗じて求めます。この家庭系ごみ量と事業系ごみ量との推計値を合計し、現状のまま施策を維持した場合のごみ発生量とします。

次に、ごみ排出抑制等の減量目標を設定し、この減量目標を達成した場合のごみ処理量とします。



資図2-1 基本的な推計の手順

*：時系列分析

時系列分析とは、時間の経過に従って変化する現象を、一定の規則性を持つ傾向線として近似的に一次関数、指数関数等によってモデル化し、これを延長することにより、将来の一定期間内における変化の状態を数量的に把握する予測手法であり、最もよく用いられています。

ここでは、資表2-1に示す7つの線形により、時系列分析を行うこととします。

資表2-1 推計に用いる傾向線

名 称	推 定 式	式の傾向及び特徴
直線式	$y = a x + c$	最も基本となる式であり、傾きが一定で直線的に推移する式。直線的に増加または減少することから、長期の予定では不自然な傾向となってしまうこともあり、予測値の妥当性を判断する必要がある。
2次関数式	$y = a x + b x^2 + c$	増減の大きな傾向曲線を示す場合が多く、実績値によっては、傾向曲線の中に極値を含み、増減の逆転が生じる場合もある。従って、人口などの推計では整合がよくないが、ごみの推計では採用される場合もある。
対数式	$y = a \cdot \log(x) + b$	徐々に増減率が収束していくような推移となる推計式である。長期の予測でも実績値との乖離が少なく、比較的採用しやすい式である。
べき乗式	$y = x^a \cdot b + c$	指数式と同様に、徐々に増減率が大きくなっていく式であるが、推計式の実績値が減少傾向となっている場合には推計結果が得られないことがある。
指数式	$y = b x^a$	実績値にばらつきが少ない場合に良く適合する式であり、多くの場合において実績値の増減率が徐々に大きくなることから、長期的な予測では推計値の妥当性について判断する必要がある。
修正指数式	$y = K - b \cdot a^x$	特定値に向って収束していく傾向がある場合に当てはまるが、上・下限値であるKが求められない場合発散してしまうため整合しない場合がある。
ロジスティック式	$y = K / (1 + b \exp(-a x))$	生物の個体数の変化を表すモデルとして考案された式であり、成長曲線とも呼ばれる。 一般的に、飽和値Kはその環境下で存在できる最大値を示す定数であり、yが増加するにつれ、増加率は抑制され、最終的には飽和値に収束していく。

備考) y：計画年次における数値

x：計画年次

a, b, c：定数

K：飽和数値

2-2 家庭系ごみの予測

家庭系ごみの予測する原単位等を、資表2-2(1)及び資表2-2(2)に示すように整理し、以下の推計手順従って行います。

[家庭系ごみ(別荘ごみ除く)排出量の推計方法] 資表2-2(1)参照

1. ごみに混入する資源は、分別の徹底により「ごみ」から「資源」へと移行します。また、その逆も想定されます。従って、可燃ごみに、可燃系資源物(紙類、プラ類、布類)を加えた可燃系ごみを時系列分析により予測します。

[可燃系ごみ = 可燃ごみ + 可燃系資源物]

2. 可燃系資源物は、傾向が異なる可能性があることから、資源物ごとに推計を行います。

[可燃系資源物 = 紙類 + プラ類 + 布類]

3. 可燃ごみは、可燃系ごみから可燃系資源物を差し引いたものとしします。

[可燃ごみ = 可燃系ごみ - 可燃系資源物]

4. 不燃ごみも、可燃ごみ同様に、不燃ごみに不燃系資源物(缶類、ビン類)を加えた不燃系ごみを時系列分析により予測します。

[不燃系ごみ = 不燃ごみ + 不燃系資源物]

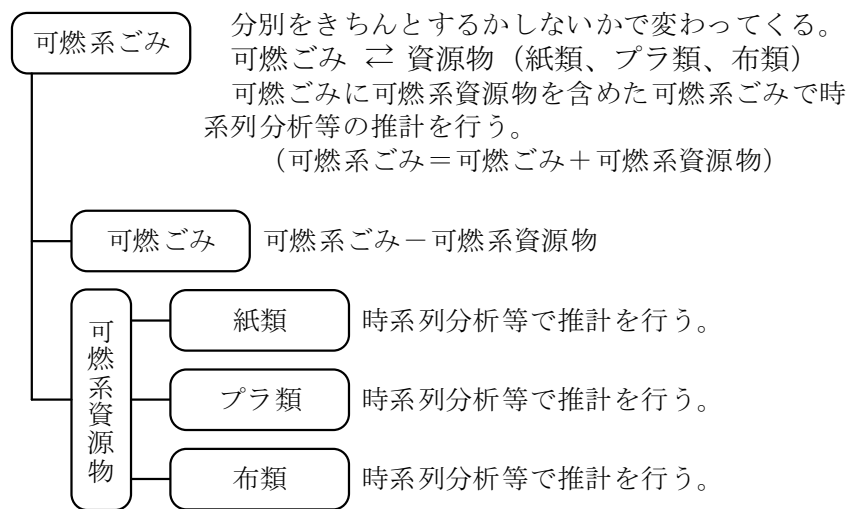
5. 不燃系資源物も、傾向が異なる可能性があることから、資源物ごとに推計を行います。

[不燃系資源物 = 缶類 + ビン類]

6. 粗大ごみは、可燃性、不燃性にそれぞれ混入しないものとし、単独で推計を行います。

7. 種ごとの品目の内訳については、令和2年度比率で案分します。

注) は推計を行うものを示します。



資図2-2 可燃系ごみ推計考え方のイメージ図

[別荘ごみ排出量の推計方法] 資表2-2(2)参照

1. 滞在日数等の把握が困難であるため、事業系ごみ同様、1日当たりの排出量で予測を行います。

資表 2-2(1) 家庭系ごみ（別荘ごみ除く）排出量の実績

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2比率	
	人口	人	47,558	47,367	46,879	46,421	46,463	
②	可燃ごみ	t/年	6,377	6,414	6,533	6,610	6,652	
	紙類	新聞紙・チラシ	t/年	613	573	568	502	418 (35.7)
		雑誌	t/年	326	298	315	280	287 (24.5)
		牛乳パック	t/年	4	4	4	4	4 (0.3)
		ダンボール	t/年	298	303	324	308	323 (27.6)
		ミックス紙	t/年	155	150	150	144	139 (11.9)
		計	t/年	1,396	1,328	1,361	1,238	1,171 (100.0)
	原単位	g/人・日	80.4	76.8	79.5	72.9	69.0	
	プラ類	ペットボトル	t/年	45	46	52	51	52 (35.4)
		プラスチック製 容器包装	t/年	71	71	74	76	85 (57.8)
発泡スチロール ・発泡トレイ		t/年	8	8	9	9	10 (6.8)	
計		t/年	124	125	135	136	147 (100.0)	
原単位	g/人・日	7.1	7.2	7.9	8.0	8.7		
③	布類	t/年	2	2	2	2	2	
④	原単位	g/人・日	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
①	計	t/年	7,899	7,869	8,031	7,986	7,972	
原単位	g/人・日	455.0	455.1	469.4	470.0	470.1		
⑥	不燃ごみ	t/年	488	497	511	503	532	
	缶類	アルミ缶	t/年	29	29	30	33	34 (66.7)
		スチール缶	t/年	22	19	20	16	17 (33.3)
		計	t/年	51	48	50	49	51 (100.0)
	原単位	g/人・日	2.9	2.8	2.9	2.9	3.0	
	ビン類	無色ビン	t/年	44	58	45	41	48 (26.2)
		茶色ビン	t/年	55	78	57	51	56 (30.6)
		その他ビン	t/年	81	46	74	70	79 (43.2)
		計	t/年	180	182	176	162	183 (100.0)
	原単位	g/人・日	10.4	10.5	10.3	9.5	10.8	
⑦	計	t/年	719	727	737	714	766	
⑤	原単位	g/人・日	41.4	42.0	43.1	42.0	45.2	
⑧	可燃粗大ごみ	t/年	129	143	157	155	180	
	原単位	g/人・日	7.4	8.3	9.2	9.1	10.6	
⑨	不燃粗大ごみ	t/年	108	118	131	138	169	
	原単位	g/人・日	6.2	6.8	7.7	8.1	10.0	

注) ()内数値は、比率(%)を示す。

資表 2-2(2) 別荘ごみ排出量の実績

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
⑩	可燃ごみ	t/年	61	86	97	104
	日量	t/日	0.17	0.24	0.27	0.28
⑪	不燃ごみ	t/年	5	7	8	8
	日量	t/日	0.01	0.02	0.02	0.02

家庭系ごみの時系列分析は、資表 2-4～資表 2-14 に示すとおりです。将来式選定の考え方は資表 2-3(1) 及び資表 2-3(2) に示します。

資表 2-3(1) 家庭系ごみ原単位の選定の考え方

		選定の考え方
①可燃系ごみ (=可燃ごみ+可燃系資源物)		実績は、平成 30 年度に増加し、それ以降はほぼ横ばいを示しています。 将来は、実績値が近年横ばいを示していることもあり、増加が最も緩やかな対数式を、将来を示す線形とします。
可燃ごみ		(可燃系ごみ-可燃系資源物)
可燃系資源物	②紙類	実績は、平成 30 年度に一時増加していますが、総体的に減少傾向を示しています。 将来は、緩やかな減少傾向を示すべき乗式を、将来を示す線形とします。
	③プラ類	実績は、緩やかな増加傾向を示しています。 将来も、緩やかな傾向を示す対数式を、将来を示す線形とします。
	④布類	実績は、0.12 g/人・日一定となっています。 将来も、0.12 g/人・日一定とします。
⑤不燃系ごみ (=不燃ごみ+不燃系資源物)		実績は、令和元年度に減少し、令和 2 年度に増加しています。 将来は、大きく増加し続けるとは考え難く、増加が緩やかな対数式を、将来を示す線形とします。
不燃ごみ		(不燃系ごみ-不燃系資源物)
不燃系資源物	⑥缶類	実績は、平成 29 年度から令和 2 年度にかけて緩やかな増加傾向を示しています。 将来も、緩やかな増加傾向を示す対数式を、将来を示す線形とします。
	⑦ビン類	実績は、平成 30 年度から令和元年度に減少し、令和元年度から令和 2 年度に大きく増加しています。 将来は、時系列分析(2次関数式除く)より、令和 2 年度実績の方が高い値を示しており、令和 2 年度値(10.8 g/人・日)一定とします。
⑧可燃粗大ごみ		実績は、増加傾向を示し、平成 30 年度から令和元年度に横ばい、令和元年度から令和 2 年度に増加しています。令和 2 年度の増加は、コロナの影響によることも考えられます。 時系列分析は、令和 2 年度の増加は、一時的なことも考えられ、平成 28 年度から令和元年度までの 4 か年を基に、推計を行います。 将来は、実績が平成 30 年度から令和元年度に横這いを示していることから、緩やかな増加を示すロジスティック式を、将来を示す線形として採用します。
⑨不燃粗大ごみ		時系列分析は、可燃粗大ごみ同様、平成 28 年度から令和元年度を基に時系列分析を行います。 将来は、大きく増加し続けるとは考え難く、緩やかに増加するロジスティック式を、将来を示す線形として採用します

資表 2-3(2) 別荘ごみ日量の選定の考え方

	選定の考え方
⑩別荘可燃ごみ	<p>実績は、増加傾向を示し、令和 2 年度に、それまでの傾きより大きな増加を示しています。令和 2 年度の増加は、コロナの影響により別荘での滞在日数が増えたことも考えられます。</p> <p>時系列分析は、平成 28 年度から令和元年度の実績を基に推計し、令和 2 年度の予測値と実績値との差分を加味するものとします。</p> <p>将来は、修正指数式を採用し、$0.08 \text{ t / 日} (=0.37[\text{実績値}] - 0.29[\text{予測値}])$ を加算するものとします。</p>
⑪別荘不燃ごみ	<p>時系列分析は、可燃粗大ごみ同様、平成 28 年度から令和元年度を基に時系列分析を行い、令和 2 年度の予測値と実績値との差分を加味するものとします。</p> <p>将来は、対数式を採用し、$0.01 \text{ t / 日} (=0.03[\text{実績値}] - 0.02[\text{予測値}])$ を加算するものとします。</p>

①家庭系可燃系ごみ

資表 2-4 家庭系可燃系ごみの実績及び推計

【実績値】 (g/人・日)		予 測 式	
年度	原単位	区 分	
2016(平成28)	455.0	直線	$Y=(4.5100)X+(382.74)$
2017(平成29)	455.1	2次関数	$Y=(-0.97857)X^2+(39.739)X+(67.640)$
2018(平成30)	469.4	対数	$Y=(81.457)\log X+(228.73)$
2019(令和元)	470.0	べき乗	$Y=(278.96)X^{(0.17612)}$
2020(令和2)	470.1	指数	$Y=(389.19)*(1.0098)^X$
		修正指数	
		ロジスティック	
		Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)	

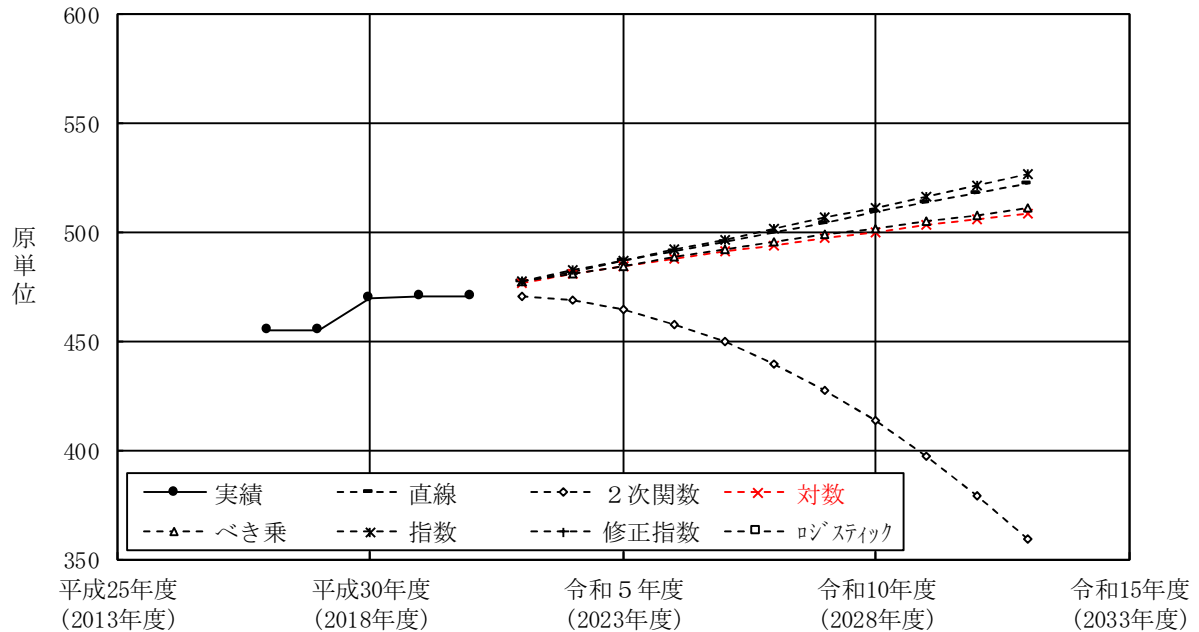
注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

【推計値】 (単位：g/人・日)								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	
2021(令和3)	477.5	470.6	476.7	476.9	477.6			
2022(令和4)	482.0	468.3	480.5	480.8	482.3			
2023(令和5)	486.5	464.0	484.1	484.6	487.0			
2024(令和6)	491.0	457.7	487.6	488.2	491.8			
2025(令和7)	495.5	449.5	490.9	491.8	496.6			
2026(令和8)	500.0	439.3	494.1	495.2	501.5			
2027(令和9)	504.5	427.2	497.2	498.5	506.4			
2028(令和10)	509.0	413.1	500.2	501.7	511.4			
2029(令和11)	513.5	397.1	503.0	504.8	516.4			
2030(令和12)	518.0	379.1	505.8	507.8	521.4			
2031(令和13)	522.6	359.1	508.5	510.7	526.6			

相関係数	0.880181	0.908726	0.886782	0.886611	0.879998			
------	----------	----------	----------	----------	----------	--	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。
相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(g/人・日)



資図 2-3 家庭系可燃系ごみの推移

②家庭系紙類

資表 2-5 家庭系紙類の実績及び将来

【実績値】 (g/人・日)

年度	原単位
2016(平成28)	80.4
2017(平成29)	76.8
2018(平成30)	79.5
2019(令和元)	72.9
2020(令和2)	69.0

区分	予 測 式
直線	$Y = (-2.6700)X + (123.78)$
2次関数	$Y = (-0.70714)X^2 + (22.787)X + (-103.92)$
対数	$Y = (-47.354) \log X + (212.44)$
べき乗	$Y = (472.15)X^{-0.63446}$
指数	$Y = (143.99) * (0.96484)^X$
修正指数	
ロジスティック	

Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

【推計値】 (単位：g/人・日)

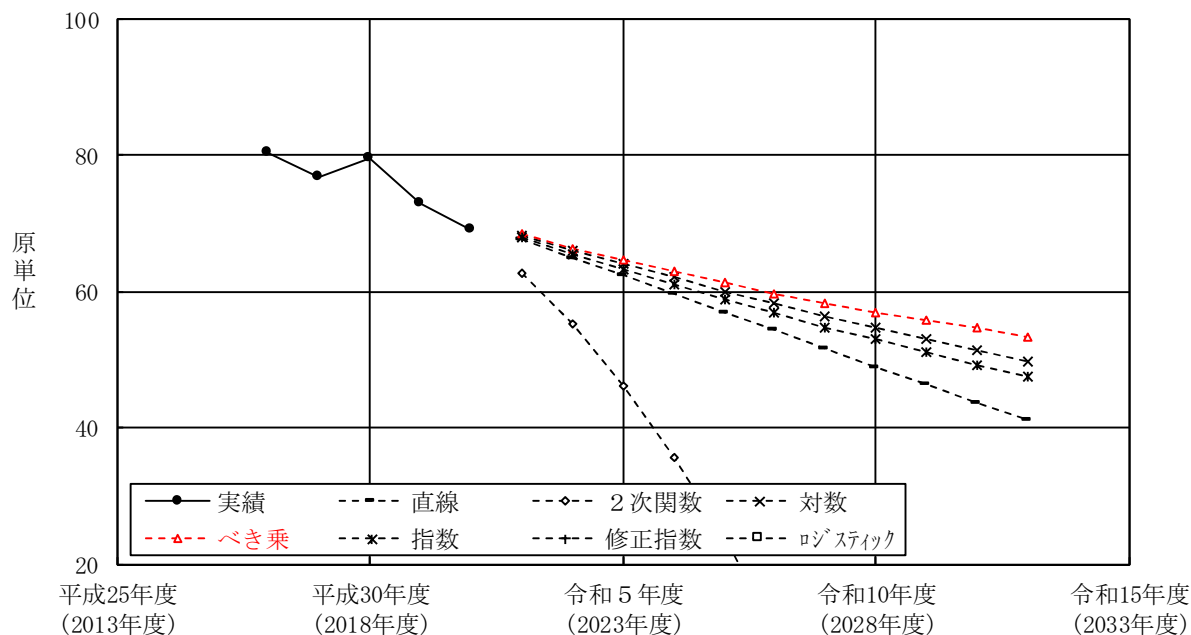
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック
2021(令和3)	67.7	62.8	68.3	68.4	67.9		
2022(令和4)	65.0	55.1	66.1	66.4	65.5		
2023(令和5)	62.4	46.1	64.0	64.6	63.2		
2024(令和6)	59.7	35.7	62.0	62.9	61.0		
2025(令和7)	57.0	23.8	60.0	61.3	58.8		
2026(令和8)	54.4	10.5	58.2	59.7	56.8		
2027(令和9)	51.7		56.4	58.3	54.8		
2028(令和10)	49.0		54.7	57.0	52.9		
2029(令和11)	46.4		53.0	55.7	51.0		
2030(令和12)	43.7		51.4	54.6	49.2		
2031(令和13)	41.0		49.8	53.4	47.5		

相関係数	0.887695		0.878205	0.878361	0.888330		
------	----------	--	----------	----------	----------	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。

相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(g/人・日)



資図 2-4 家庭系紙類の推移

③家庭系プラ類

資表 2-6 家庭系プラ類の実績及び推計

【実績値】 (g/人・日)		予 測 式	
年度	原単位	区 分	
2016(平成28)	7.1	直線	$Y=(0.40000)X+(0.58000)$
2017(平成29)	7.2	2次関数	$Y=(0.042857)X^2+(-1.1429)X+(14.380)$
2018(平成30)	7.9	対数	$Y=(7.1369)\log X+(-12.826)$
2019(令和元)	8.0	べき乗	$Y=(0.55416)X^{(0.91404)}$
2020(令和2)	8.7	指数	$Y=(3.0879)*(1.0525)^X$
		修正指数	
		ロジスティック	
		Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)	

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

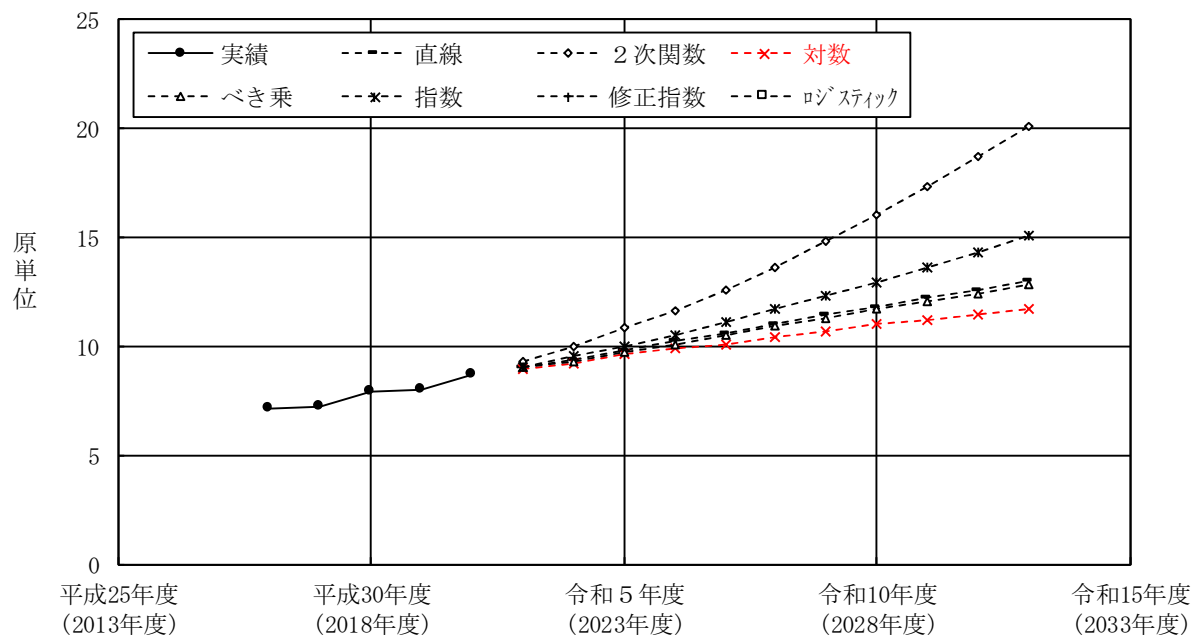
【推計値】 (単位：g/人・日)								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	
2021(令和3)	9.0	9.3	8.9	9.0	9.0			
2022(令和4)	9.4	10.0	9.2	9.3	9.5			
2023(令和5)	9.8	10.8	9.6	9.7	10.0			
2024(令和6)	10.2	11.6	9.9	10.1	10.5			
2025(令和7)	10.6	12.6	10.1	10.5	11.1			
2026(令和8)	11.0	13.6	10.4	10.9	11.7			
2027(令和9)	11.4	14.8	10.7	11.3	12.3			
2028(令和10)	11.8	16.0	11.0	11.7	12.9			
2029(令和11)	12.2	17.3	11.2	12.0	13.6			
2030(令和12)	12.6	18.7	11.4	12.4	14.3			
2031(令和13)	13.0	20.1	11.7	12.8	15.1			

相関係数	0.967868	0.975614	0.963289	0.966454	0.970154		
------	----------	----------	----------	----------	----------	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。

相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(g/人・日)



資図 2-5 家庭系プラ類の推移

④家庭系布類

資表 2-7 家庭系布類の実績及び推計

【実績値】 (g/人・日)

年度	原単位
2016(平成28)	0.12
2017(平成29)	0.12
2018(平成30)	0.12
2019(令和元)	0.12
2020(令和2)	0.12

区 分	予 測 式
直線	
2次関数	
対数	
べき乗	
指数	
修正指数	
ロジスティック	
	0.12 g/人・日一定
	Y: 予測値 X: 西暦年度(下2桁)

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

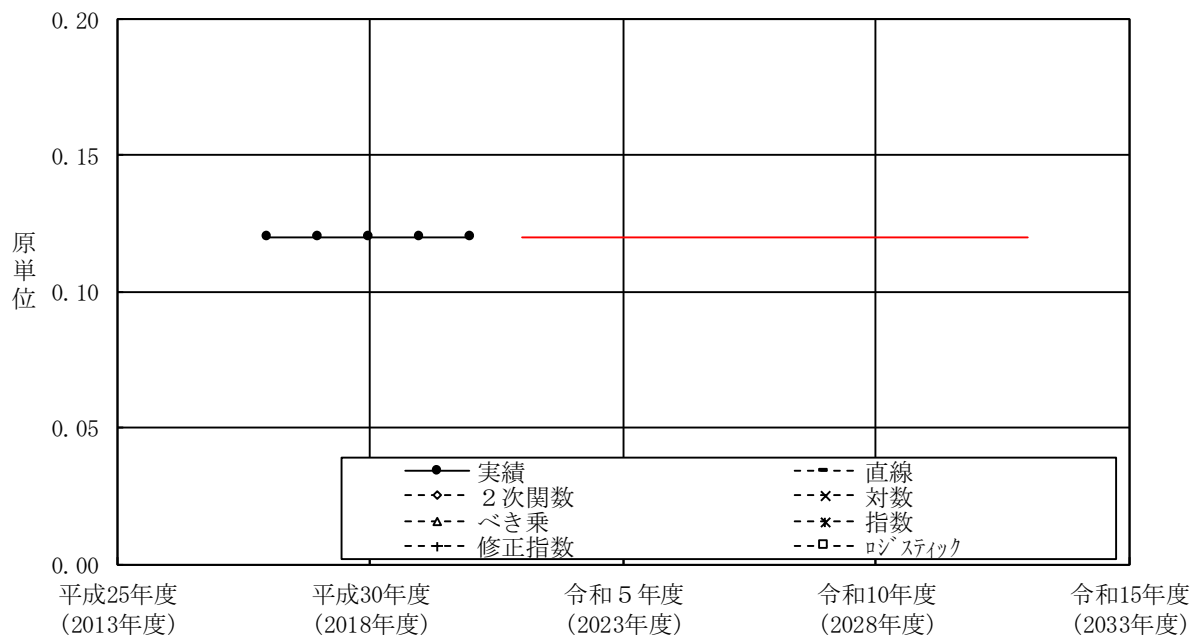
【推計値】 (単位: g/人・日)

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	0.12 g/人・日一定
2021(令和3)								0.12
2022(令和4)								0.12
2023(令和5)								0.12
2024(令和6)								0.12
2025(令和7)								0.12
2026(令和8)								0.12
2027(令和9)								0.12
2028(令和10)								0.12
2029(令和11)								0.12
2030(令和12)								0.12
2031(令和13)								0.12

相関係数								

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。
相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(g/人・日)



資図 2-6 家庭系布類の推移

⑤家庭系不燃系ごみ

資表 2-8 家庭系不燃系ごみの実績及び推計

【実績値】 (g/人・日)		区 分		予 測 式	
年度	原単位				
2016(平成28)	41.4	直線	$Y=(0.76000)X+(29.060)$		
2017(平成29)	42.0	2次関数	$Y=(0.21429)X^2+(-6.9543)X+(98.060)$		
2018(平成30)	43.1	対数	$Y=(13.476)\log X+(3.8325)$		
2019(令和元)	42.0	べき乗	$Y=(17.376)X^{(0.31156)}$		
2020(令和2)	45.2	指数	$Y=(31.141)*(1.0177)^X$		
		修正指数			
		ロジスティック			
		Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)			

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

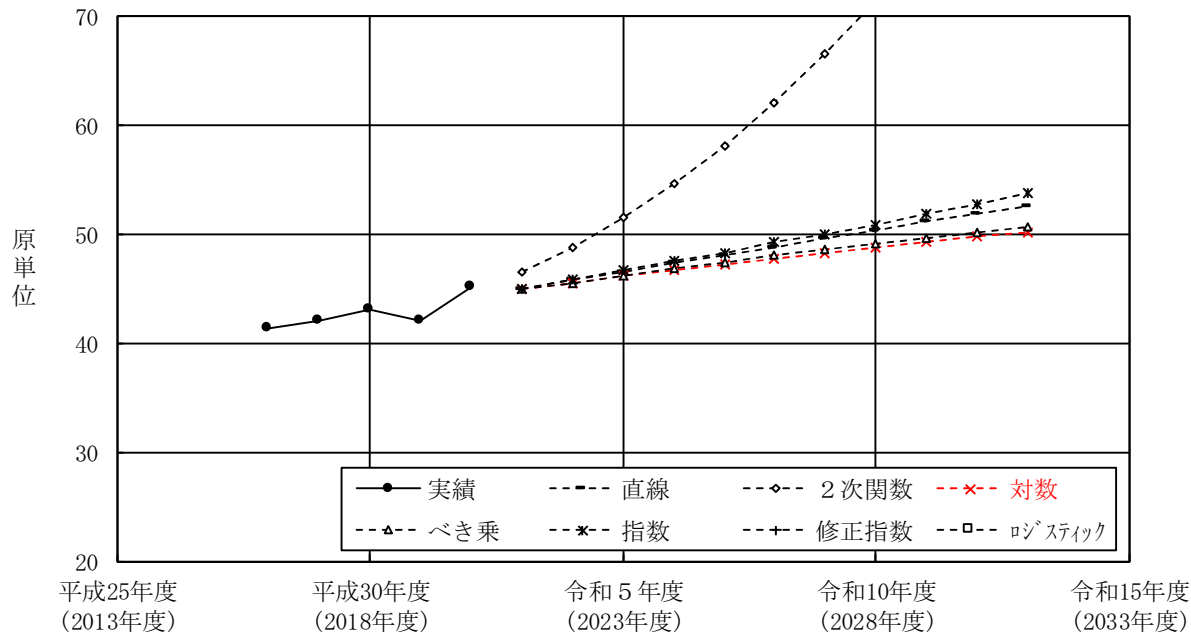
【推計値】 (単位：g/人・日)								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	
2021(令和3)	45.0	46.5	44.9	44.9	45.0			
2022(令和4)	45.8	48.8	45.5	45.5	45.8			
2023(令和5)	46.5	51.5	46.1	46.2	46.6			
2024(令和6)	47.3	54.6	46.7	46.8	47.5			
2025(令和7)	48.1	58.1	47.2	47.4	48.3			
2026(令和8)	48.8	62.1	47.7	48.0	49.2			
2027(令和9)	49.6	66.5	48.2	48.5	50.0			
2028(令和10)	50.3	71.3	48.7	49.1	50.9			
2029(令和11)	51.1	76.6	49.2	49.6	51.8			
2030(令和12)	51.9	82.3	49.7	50.1	52.7			
2031(令和13)	52.6	88.4	50.1	50.7	53.7			

相関係数	0.797925	0.841158	0.789198	0.791142	0.799512			
------	----------	----------	----------	----------	----------	--	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。

相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(g/人・日)



資図 2-7 家庭系不燃系ごみの推移

⑥家庭系缶類

資表 2-9 家庭系缶類の実績及び推計

【実績値】 (g/人・日)		予 測 式	
年度	原単位	区 分	
2016(平成28)	2.9	直線	$Y=(0.030000)X+(2.3600)$
2017(平成29)	2.8	2次関数	$Y=(0.021429)X^2+(-0.74143)X+(9.2600)$
2018(平成30)	2.9	対数	$Y=(0.522)\log X+(1.39)$
2019(令和元)	2.9	べき乗	$Y=(1.7285)X^{(0.17914)}$
2020(令和2)	3.0	指数	$Y=(2.4091)*(1.0103)^X$
		修正指数	
		ロジスティック	
		Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)	

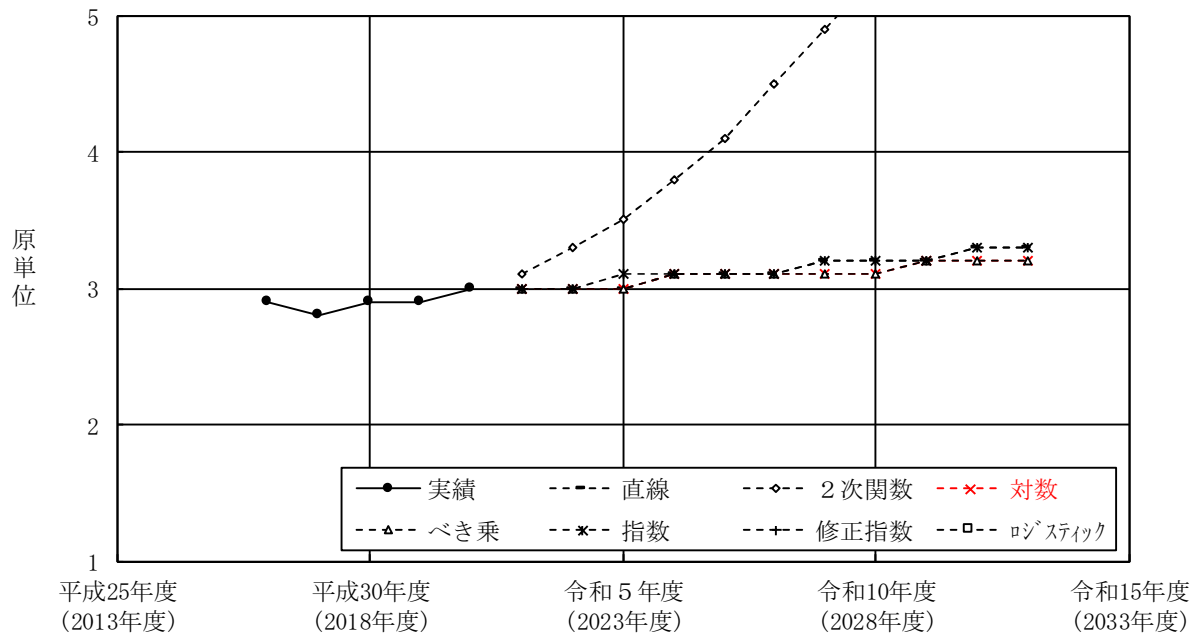
注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

【推計値】 (単位：g/人・日)								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	
2021(令和3)	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0			
2022(令和4)	3.0	3.3	3.0	3.0	3.0			
2023(令和5)	3.0	3.5	3.0	3.0	3.1			
2024(令和6)	3.1	3.8	3.1	3.1	3.1			
2025(令和7)	3.1	4.1	3.1	3.1	3.1			
2026(令和8)	3.1	4.5	3.1	3.1	3.1			
2027(令和9)	3.2	4.9	3.1	3.1	3.2			
2028(令和10)	3.2	5.3	3.1	3.1	3.2			
2029(令和11)	3.2	5.8	3.2	3.2	3.2			
2030(令和12)	3.3	6.3	3.2	3.2	3.3			
2031(令和13)	3.3	6.9	3.2	3.2	3.3			

相関係数	0.670820	0.878310	0.651475	0.647656	0.666905			
------	----------	----------	----------	----------	----------	--	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。
相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(g/人・日)



資図 2-8 家庭系缶類の推移

⑦家庭系ビン類

資表 2-10 家庭系ビン類の実績及び推計

【実績値】 (g/人・日)		予 測 式	
年度	原単位	区 分	
2016(平成28)	10.4	直線	$Y = (-0.020000)X + (10.660)$
2017(平成29)	10.5	2次関数	$Y = (0.12857)X^2 + (-4.6486)X + (52.060)$
2018(平成30)	10.3	対数	$Y = (-0.44297)\log X + (11.579)$
2019(令和元)	9.5	べき乗	$Y = (11.969)X^{(-0.052337)}$
2020(令和2)	10.8	指数	$Y = (10.757) * (0.99754)^X$
		修正指数	
		ロジスティック	
		令和2年度値 (10.8 g/人・日) 一定	
		Y: 予測値 X: 西暦年度(下2桁)	

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

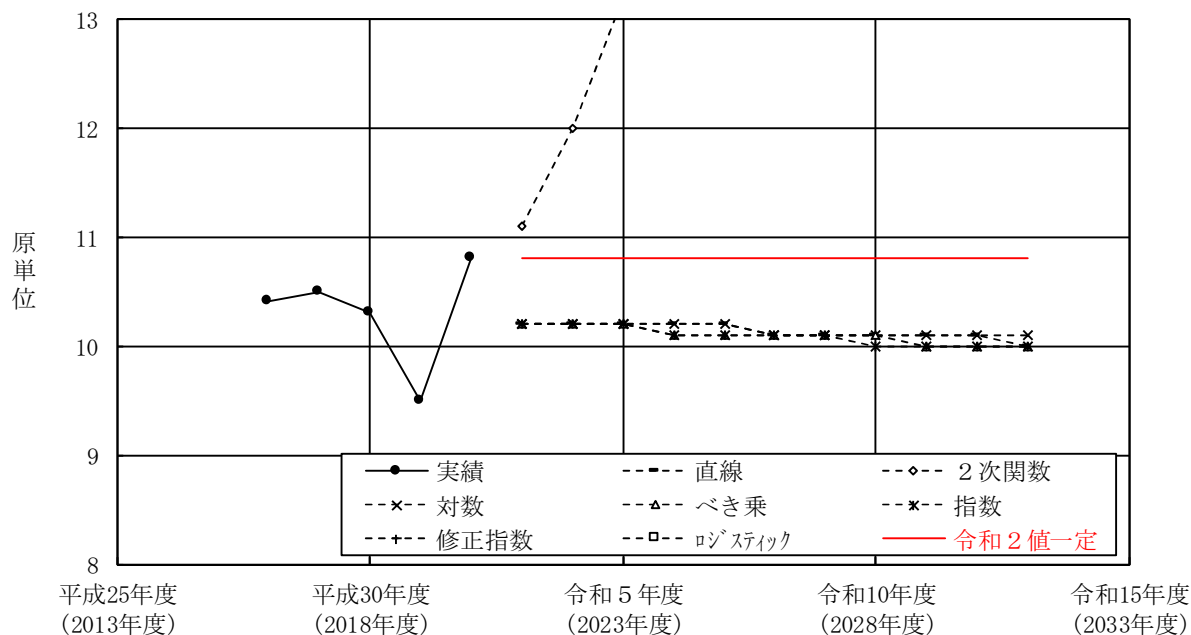
【推計値】 (単位: g/人・日)									
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	令和2値一定	
2021(令和3)	10.2	11.1	10.2	10.2	10.2			10.8	
2022(令和4)	10.2	12.0	10.2	10.2	10.2			10.8	
2023(令和5)	10.2	13.2	10.2	10.2	10.2			10.8	
2024(令和6)	10.2	14.6	10.2	10.1	10.1			10.8	
2025(令和7)	10.2	16.2	10.2	10.1	10.1			10.8	
2026(令和8)	10.1	18.1	10.1	10.1	10.1			10.8	
2027(令和9)	10.1	20.3	10.1	10.1	10.1			10.8	
2028(令和10)	10.1	22.7	10.1	10.1	10.0			10.8	
2029(令和11)	10.1	25.4	10.1	10.0	10.0			10.8	
2030(令和12)	10.1	28.3	10.1	10.0	10.0			10.8	
2031(令和13)	10.0	31.5	10.1	10.0	10.0			10.8	

相関係数	0.065233	0.500456	0.080594	0.096026	0.080924			
------	----------	----------	----------	----------	----------	--	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。

相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(g/人・日)



資図 2-9 家庭系ビン類の推移

⑧家庭系可燃粗大ごみ

資表 2-11 家庭系可燃粗大ごみの実績及び推計

【実績値】

年度	原単位
2016(平成28)	7.4
2017(平成29)	8.3
2018(平成30)	9.2
2019(令和元)	9.1
2020(令和2)	(10.6)

区分	予 測 式
直線	$Y=(0.60000)X+(-2.0000)$
2次関数	$Y=(-0.25000)X^2+(9.3500)X+(-78.250)$
対数	$Y=(10.568)\log X+(-21.727)$
べき乗	$Y=(0.22107)X^{(1.2746)}$
指数	$Y=(2.3880)*(1.0750)^X$
修正指数	$Y=(10.049)-(1080.3)*(0.68363)^X$
ロジスティック	$Y=(9.8755)/(1+(976.53)*\exp(-0.50524X))$

Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

【推計値】

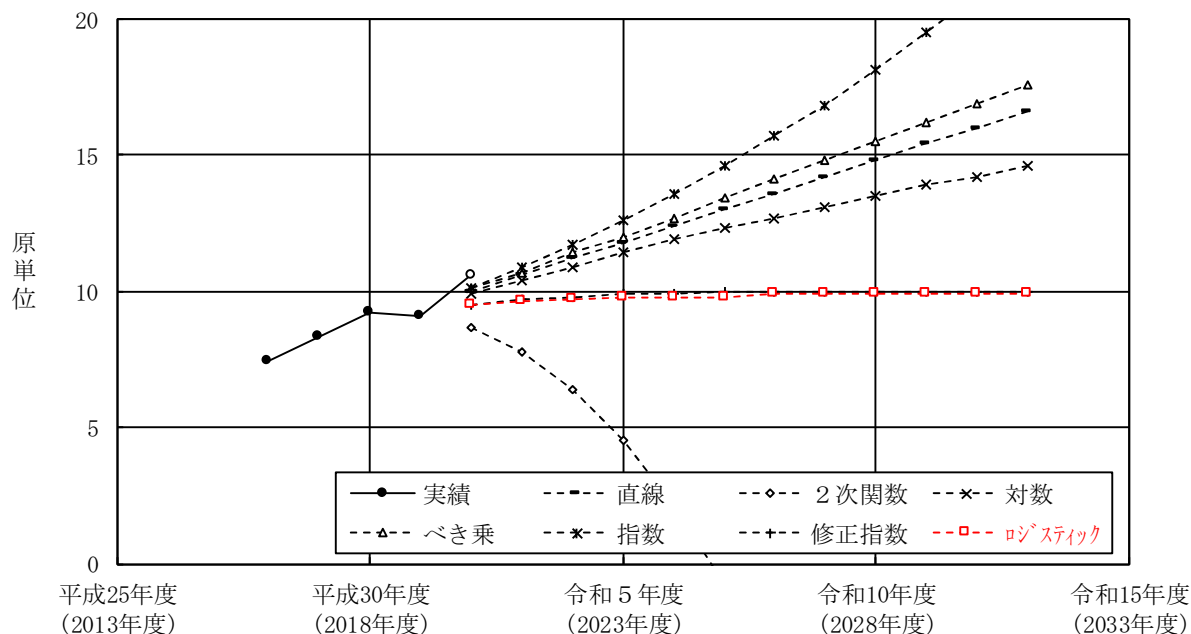
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック
2020(令和2)	10.0	8.7	9.9	10.1	10.1	9.5	9.5
2021(令和3)	10.6	7.8	10.4	10.7	10.9	9.7	9.6
2022(令和4)	11.2	6.4	10.9	11.4	11.7	9.8	9.7
2023(令和5)	11.8	4.5	11.4	12.0	12.6	9.9	9.8
2024(令和6)	12.4	2.1	11.9	12.7	13.6	9.9	9.8
2025(令和7)	13.0		12.3	13.4	14.6	10.0	9.8
2026(令和8)	13.6		12.7	14.1	15.7	10.0	9.9
2027(令和9)	14.2		13.1	14.8	16.8	10.0	9.9
2028(令和10)	14.8		13.5	15.5	18.1	10.0	9.9
2029(令和11)	15.4		13.9	16.2	19.5	10.0	9.9
2030(令和12)	16.0		14.2	16.9	20.9	10.0	9.9
2031(令和13)	16.6		14.6	17.6	22.5	10.0	9.9

相関係数	0.925820		0.934246	0.932943	0.924140	0.918229	0.918103
------	----------	--	----------	----------	----------	----------	----------

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。

相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(g/人・日)



資図 2-10 家庭系可燃粗大ごみの推移

⑨家庭系不燃粗大ごみ

資表 2-12 家庭系不燃粗大ごみの実績及び推計

【実績値】 (g/人・日)		区 分		予 測 式	
年度	原単位				
2016(平成28)	6.2	直線	$Y=(0.66000)X+(-4.3500)$		
2017(平成29)	6.8	2次関数	$Y=(-0.05000)X^2+(2.4100)X+(-19.600)$		
2018(平成30)	7.7	対数	$Y=(11.536)\log X+(-25.794)$		
2019(令和元)	8.1	べき乗	$Y=(0.069556)X^{(1.6203)}$		
2020(令和2)	(10.0)	指数	$Y=(1.4158)*(1.0970)^X$		
		修正指数	$Y=(16.400)-(32.149)*(0.93083)^X$		
		ロジスティック	$Y=(11.896)/(1+(38.744)*\exp(-0.23380X))$		
		Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)			

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

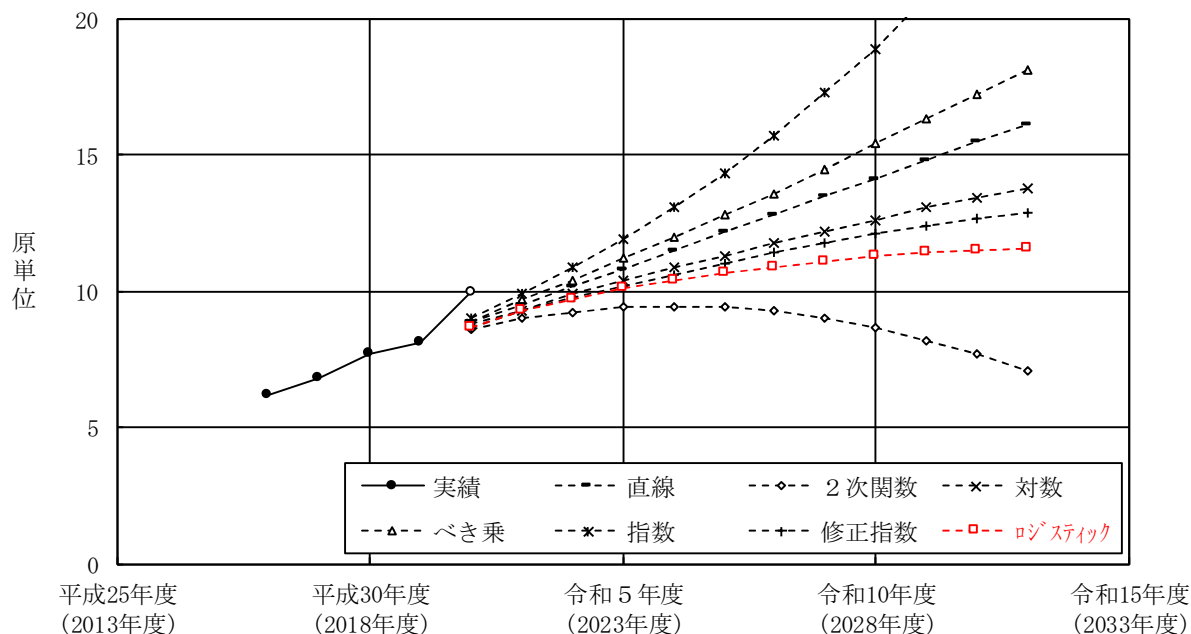
【推計値】 (単位：g/人・日)								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	
2020(令和2)	8.9	8.6	8.8	8.9	9.0	8.7	8.7	
2021(令和3)	9.5	9.0	9.3	9.7	9.9	9.3	9.3	
2022(令和4)	10.2	9.2	9.9	10.4	10.9	9.8	9.7	
2023(令和5)	10.8	9.4	10.4	11.2	11.9	10.2	10.1	
2024(令和6)	11.5	9.4	10.9	12.0	13.1	10.6	10.4	
2025(令和7)	12.2	9.4	11.3	12.8	14.3	11.0	10.7	
2026(令和8)	12.8	9.3	11.8	13.6	15.7	11.4	10.9	
2027(令和9)	13.5	9.0	12.2	14.5	17.3	11.8	11.1	
2028(令和10)	14.1	8.7	12.6	15.4	18.9	12.1	11.3	
2029(令和11)	14.8	8.2	13.1	16.3	20.8	12.4	11.4	
2030(令和12)	15.5	7.7	13.4	17.2	22.8	12.7	11.5	
2031(令和13)	16.1	7.1	13.8	18.1	25.0	12.9	11.6	

相関係数	0.990495	0.992767	0.991810	0.990778	0.988626	0.991476	0.991520
------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。

相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(g/人・日)



資図 2-11 家庭系不燃粗大ごみの推移

⑩別荘可燃ごみ

資表 2-13 別荘可燃ごみの実績及び推計

【実績値】 (t/日)

年度	日量
2016(平成28)	0.17
2017(平成29)	0.24
2018(平成30)	0.27
2019(令和元)	0.28
2020(令和2)	(0.37)

区分	予 測 式
直線	$Y=(0.036000)X+(-0.39000)$
2次関数	$Y=(-0.015000)X^2+(0.56100)X+(-4.9650)$
対数	$Y=(0.63420)\log X+(-1.5739)$
べき乗	$Y=(0.000068212)X^{(2.8486)}$
指数	$Y=(0.013965)*(1.1752)^X$
修正指数	$Y=(0.28842)-(177470)*(0.41078)^X$
ロジスティック	$Y=(0.28649)/(1+(46352694)*\exp(-(1.1312)X))$
修正指数_補正	修正指数+0.08 t/日(令和2の差分)

Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)

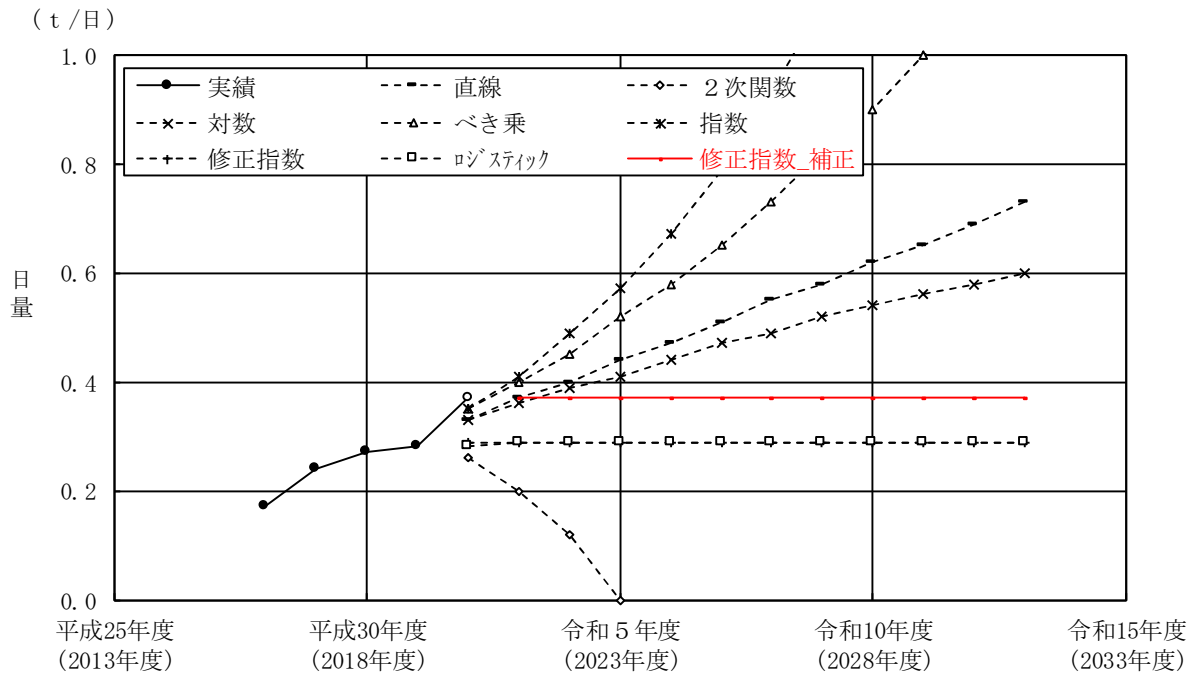
注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

【推計値】 (単位：t/日)

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	修正指数_補正
2020(令和2)	0.33	0.26	0.33	0.35	0.35	0.29	0.28	0.37
2021(令和3)	0.37	0.20	0.36	0.40	0.41	0.29	0.29	0.37
2022(令和4)	0.40	0.12	0.39	0.45	0.49	0.29	0.29	0.37
2023(令和5)	0.44	0.00	0.41	0.52	0.57	0.29	0.29	0.37
2024(令和6)	0.47		0.44	0.58	0.67	0.29	0.29	0.37
2025(令和7)	0.51		0.47	0.65	0.79	0.29	0.29	0.37
2026(令和8)	0.55		0.49	0.73	0.93	0.29	0.29	0.37
2027(令和9)	0.58		0.52	0.82	1.09	0.29	0.29	0.37
2028(令和10)	0.62		0.54	0.90	1.28	0.29	0.29	0.37
2029(令和11)	0.65		0.56	1.00	1.51	0.29	0.29	0.37
2030(令和12)	0.69		0.58	1.10	1.77	0.29	0.29	0.37
2031(令和13)	0.73		0.60	1.21	2.08	0.29	0.29	0.37

相関係数	0.935775		0.944428	0.926239	0.916466	0.999195	0.998284
------	----------	--	----------	----------	----------	----------	----------

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。
相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。



資図 2-12 別荘可燃ごみの推移

①別荘不燃ごみ

資表 2-14 別荘不燃ごみの実績及び推計

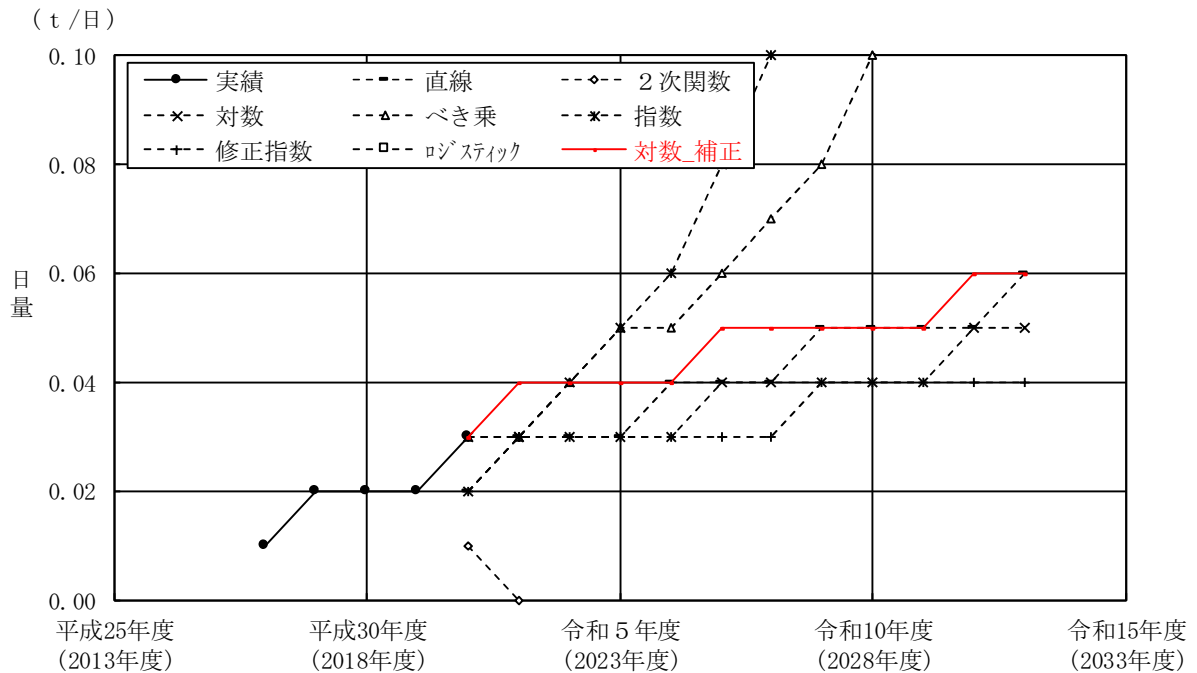
【実績値】 (t/日)		区 分		予 測 式	
年度	日量				
2016(平成28)	0.01	直線	$Y=(0.0030000)X+(-0.035000)$		
2017(平成29)	0.02	2次関数	$Y=(-0.0025000)X^2+(0.090500)X+(-0.79750)$		
2018(平成30)	0.02	対数	$Y=(0.053359)\log X+(-0.13511)$		
2019(令和元)	0.02	べき乗	$Y=(0.00000042819)X^{(3.6985)}$		
2020(令和2)	(0.03)	指数	$Y=(0.00044194)*(1.2311)^X$		
		修正指数	$Y=(0.047762)-(0.15076)*(0.91184)^X$		
		ロジスティック			
		対数_補正	対数+0.01 t/日 (令和2の差分)		
			Y: 予測値 X: 西暦年度(下2桁)		

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

【推計値】 (単位: t/日)									
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	対数_補正	
2020(令和2)	0.02	0.01	0.02	0.03	0.03	0.02		0.03	
2021(令和3)	0.03	0.00	0.03	0.03	0.03	0.03		0.04	
2022(令和4)	0.03		0.03	0.04	0.04	0.03		0.04	
2023(令和5)	0.03		0.03	0.05	0.05	0.03		0.04	
2024(令和6)	0.04		0.03	0.05	0.06	0.03		0.04	
2025(令和7)	0.04		0.04	0.06	0.08	0.03		0.05	
2026(令和8)	0.04		0.04	0.07	0.10	0.03		0.05	
2027(令和9)	0.05		0.04	0.08	0.12	0.04		0.05	
2028(令和10)	0.05		0.04	0.10	0.15	0.04		0.05	
2029(令和11)	0.05		0.04	0.11	0.18	0.04		0.05	
2030(令和12)	0.05		0.05	0.12	0.23	0.04		0.06	
2031(令和13)	0.06		0.05	0.14	0.28	0.04		0.06	

相関係数	0.774597		0.789289	0.789289	0.774597	0.774597		
------	----------	--	----------	----------	----------	----------	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。
相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。



資図 2-13 別荘不燃ごみの推移

2-3 事業系ごみの予測

事業系ごみ量を予測ごとに整理すると、資表2-15に示すとおりです。事業系ごみは人口増減の影響が少ないため、日量での推計を行います。

資表2-15 事業系ごみ量の実績

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 可燃ごみ	t / 年		4,846	4,714	5,001	5,138	4,946
	日量	t / 日	13.28	12.92	13.70	14.04	13.55
② 不燃ごみ	t / 年		168	147	170	174	172
	日量	t / 日	0.46	0.40	0.47	0.48	0.47

資表2-16 事業系ごみ日量の選定の考え方

	選定の考え方
① 可燃ごみ	実績は、総体的に増加傾向を示しています。 将来は、実績において令和元年度から令和2年度に減少しており、増加が最も緩やかな対数式を、将来を示す線形とします。
② 不燃ごみ	実績は、平成29年度に一時減少していますが、平成30年度以降は、ほぼ横ばいを示しています。 将来は、実績値の近年の横ばいを示していることもあり、増加率の最も緩やかな予測し難く令和元年度一定とします。

①事業系可燃ごみ

資表 2-17 事業系可燃ごみの実績及び推計

【実績値】

年度	原単位
2016(平成28)	13.28
2017(平成29)	12.92
2018(平成30)	13.70
2019(令和元)	14.04
2020(令和2)	13.55

区分	予 測 式
直線	$Y=(0.16600)X+(10.510)$
2次関数	$Y=(-0.050000)X^2+(1.9660)X+(-5.5900)$
対数	$Y=(3.0048)\log X+(4.8223)$
べき乗	$Y=(7.0819)X^{(0.22326)}$
指数	$Y=(10.805)*(1.0124)^X$
修正指数	
ロジスティック	

Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

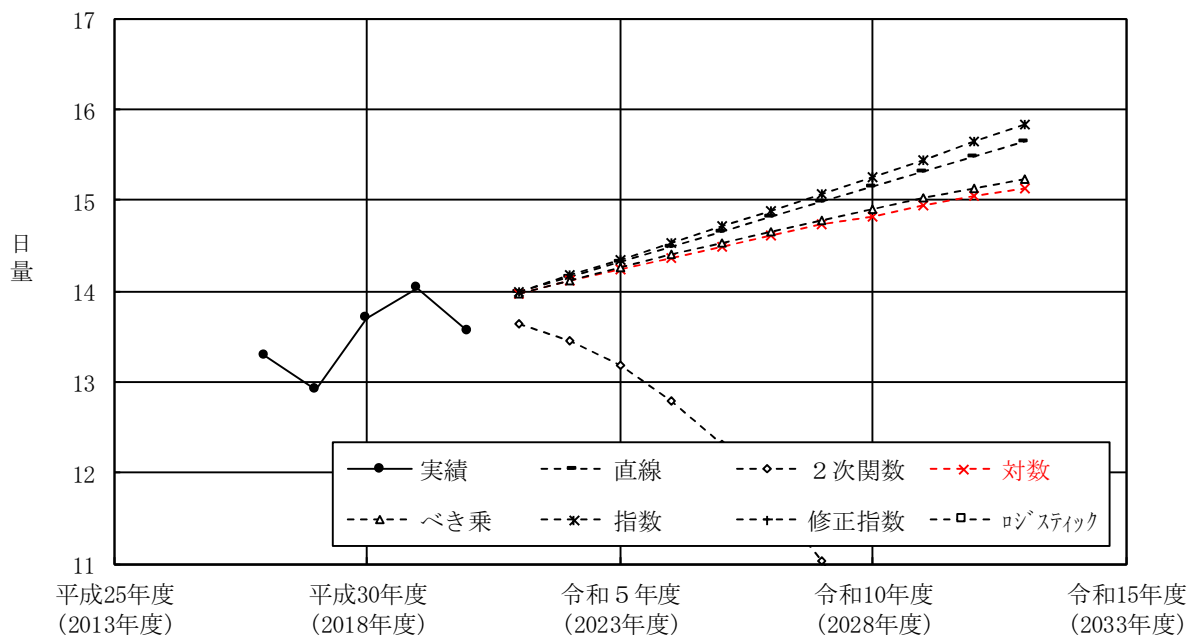
【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック
2021(令和3)	14.00	13.65	13.97	13.97	14.00		
2022(令和4)	14.16	13.46	14.11	14.12	14.18		
2023(令和5)	14.33	13.18	14.24	14.26	14.35		
2024(令和6)	14.49	12.79	14.37	14.40	14.53		
2025(令和7)	14.66	12.31	14.49	14.53	14.71		
2026(令和8)	14.83	11.73	14.61	14.66	14.89		
2027(令和9)	14.99	11.04	14.73	14.78	15.08		
2028(令和10)	15.16	10.26	14.83	14.90	15.26		
2029(令和11)	15.32	9.37	14.94	15.02	15.45		
2030(令和12)	15.49	8.39	15.04	15.13	15.65		
2031(令和13)	15.66	7.31	15.14	15.24	15.84		

相関係数	0.619127	0.657271	0.625144	0.625422	0.619656		
------	----------	----------	----------	----------	----------	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。
相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(t/日)



資図 2-14 事業系可燃ごみの推移

②事業系不燃ごみ

資表 2-18 事業系不燃ごみの実績及び推計

【実績値】

年度	原単位
2016(平成28)	0.46
2017(平成29)	0.40
2018(平成30)	0.47
2019(令和元)	0.48
2020(令和2)	0.47

区分	予 測 式
直線	$Y=(0.010000)X+(0.27600)$
2次関数	$Y=(0.0028571)X^2+(-0.092857)X+(1.1960)$
対数	$Y=(0.17684)\log X+(-0.054572)$
べき乗	$Y=(0.14416)X^{(0.39811)}$
指数	$Y=(0.30332)*(1.0228)^X$
修正指数	
ロジスティック	

Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

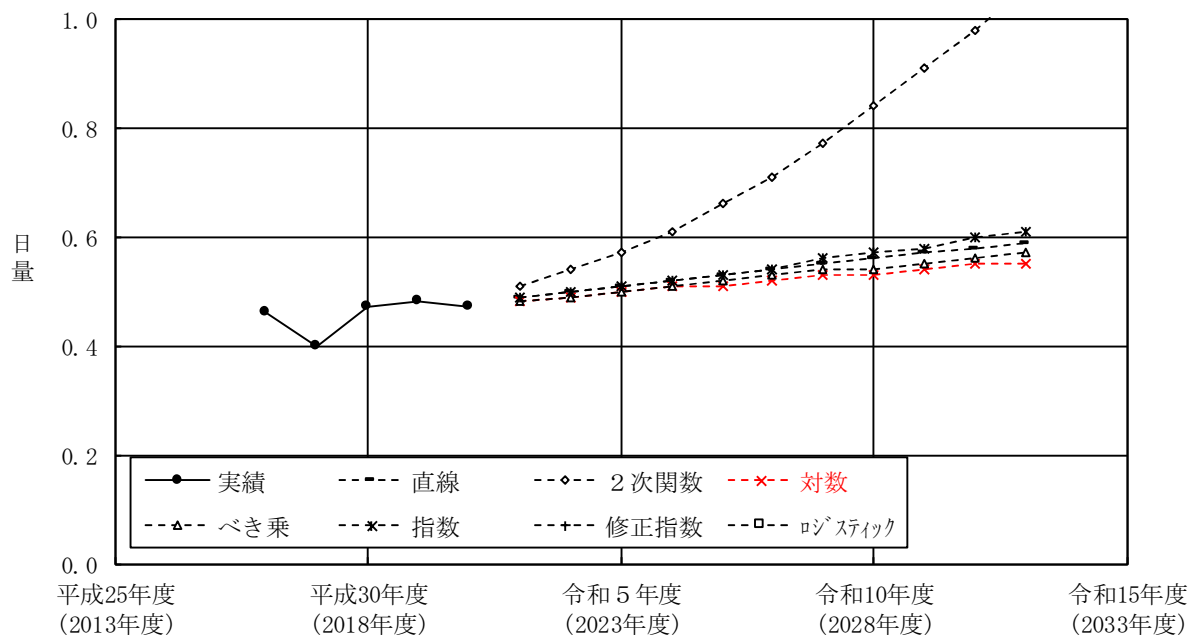
【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック
2021(令和3)	0.49	0.51	0.48	0.48	0.49		
2022(令和4)	0.50	0.54	0.49	0.49	0.50		
2023(令和5)	0.51	0.57	0.50	0.50	0.51		
2024(令和6)	0.52	0.61	0.51	0.51	0.52		
2025(令和7)	0.53	0.66	0.51	0.52	0.53		
2026(令和8)	0.54	0.71	0.52	0.53	0.54		
2027(令和9)	0.55	0.77	0.53	0.54	0.56		
2028(令和10)	0.56	0.84	0.53	0.54	0.57		
2029(令和11)	0.57	0.91	0.54	0.55	0.58		
2030(令和12)	0.58	0.98	0.55	0.56	0.60		
2031(令和13)	0.59	1.06	0.55	0.57	0.61		

相関係数	0.492665	0.520055	0.485973	0.476909	0.483919		
------	----------	----------	----------	----------	----------	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。
相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。

(t/日)



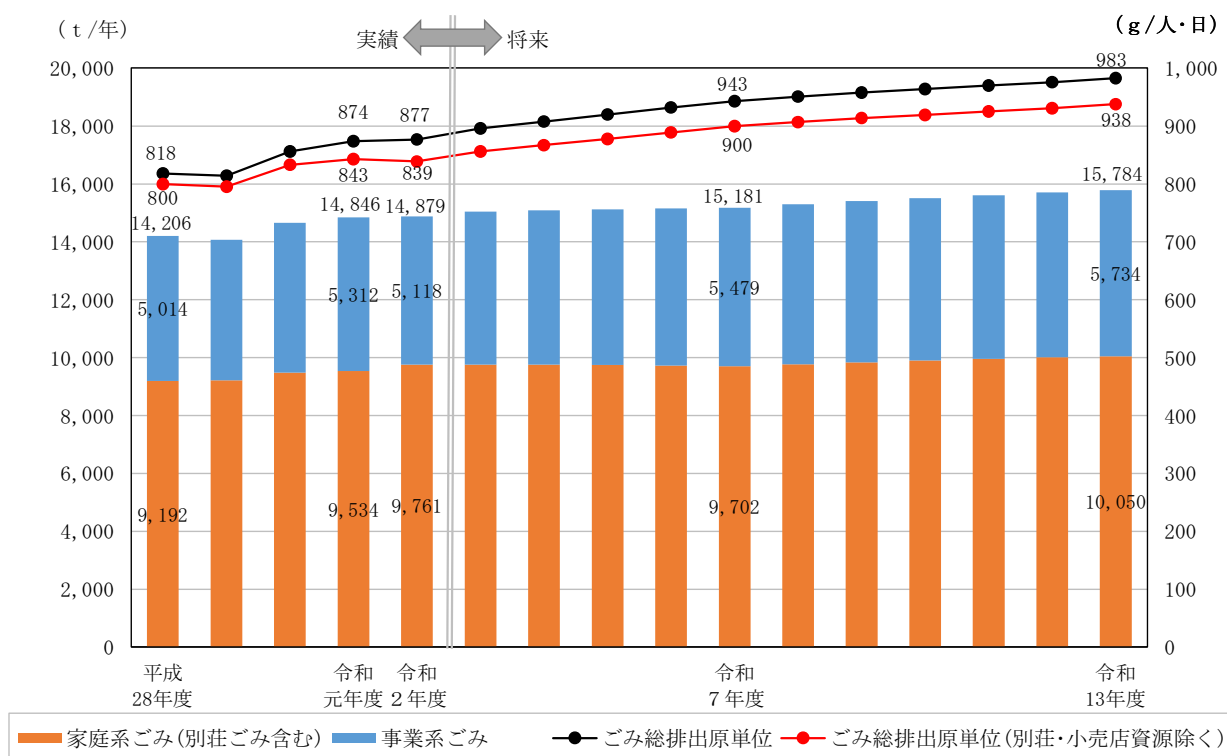
資図 2-15 事業系不燃ごみの推移

2-4 ごみ発生量の見込み〔施策現状維持の場合〕

それぞれ予測した結果を整理すると、資図2-16、資表2-19に示すとおりとなります。令和13年度に総排出量15,784t/年、原単位983g/人・日となります。令和元年度実績値(14,846t/年、874g/人・日)に対し、総排出量938tの増加、原単位109g/人・日の増加となります。

家庭系ごみ、事業系ごみ別にみると、家庭系ごみは516tの増加、事業系ごみは422tの増加となります。

*ここでは、ごみの排出抑制や資源化の促進などを行わない場合のごみ排出量を示しています。



資図2-16 ごみ発生量の推移 (施策現状維持の場合)

資表2-19 時系列分析結果

		実績					見 込 み											備 考				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度					
	人口	人	47,558	47,367	46,879	46,421	46,463	45,989	45,514	45,040	44,565	44,091	44,090	44,089	44,089	44,088	44,087	43,989	第3次北杜市総合計画値			
②	可燃系ごみ	可燃ごみ	t/年	6,377	6,414	6,533	6,610	6,653	6,703	6,724	6,736	6,745	6,748	6,821	6,889	6,953	7,016	7,075	7,117	可燃系ごみ-(紙類+プラ類+布類)		
		紙類	新聞紙・チラシ	t/年	613	573	568	502	418	410	395	380	365	353	344	334	327	319	313	305	紙類(計)×35.7%[R2]	
			雑誌	t/年	326	298	315	280	287	281	270	260	251	242	235	230	225	220	215	210	紙類(計)×24.5%[R2]	
			牛乳パック	t/年	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	紙類(計)×0.3%[R2]
			ダンボール	t/年	298	303	324	308	323	317	304	293	282	272	265	259	253	247	243	237	紙類(計)×27.6%[R2]	
			ミックス紙	t/年	155	150	150	144	139	137	131	126	122	117	114	112	109	107	105	102	紙類(計)×11.9%[R2]	
	計	t/年	1,396	1,328	1,361	1,238	1,171	1,148	1,103	1,062	1,023	987	961	938	917	896	879	857	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶			
	原単位	g/人・日	80.4	76.8	79.5	72.9	69.0	68.4	66.4	64.6	62.9	61.3	59.7	58.3	57.0	55.7	54.6	53.4	時系列分析等			
	プラ類	ペットボトル	t/年	45	46	52	51	52	53	54	56	57	58	59	61	63	64	65	67	67	プラ類(計)×35.4%[R2]	
		プラスチック製 容器包装	t/年	71	71	74	76	85	86	89	91	93	94	97	99	102	104	106	108	108	プラ類(計)×57.8%[R2]	
		発泡スチロール ・発泡トレイ	t/年	8	8	9	9	10	10	10	11	11	11	11	12	12	12	12	13	13	プラ類(計)×6.8%[R2]	
		計	t/年	124	125	135	136	147	149	153	158	161	163	167	172	177	180	183	188	188	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶	
原単位	g/人・日	7.1	7.2	7.9	8.0	8.7	8.9	9.2	9.6	9.9	10.1	10.4	10.7	11.0	11.2	11.4	11.7	11.7	時系列分析等			
布類	布類	t/年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶		
	原単位	g/人・日	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	時系列分析等		
計	t/年	7,899	7,869	8,031	7,986	7,973	8,002	7,982	7,958	7,931	7,900	7,951	8,001	8,049	8,094	8,139	8,164	8,164	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶			
原単位	g/人・日	455.0	455.1	469.4	470.0	470.1	476.7	480.5	484.1	487.6	490.9	494.1	497.2	500.2	503.0	505.8	508.5	508.5	時系列分析等			
③	家庭系ごみ	不燃系ごみ	不燃ごみ	t/年	487	496	511	503	532	523	528	531	533	536	544	553	560	565	573	579	不燃系ごみ-(缶類+ビン類)	
			缶類	アルミ缶	t/年	29	29	30	33	34	33	33	33	33	33	33	33	33	34	34	34	缶類(計)×66.7%[R2]
				スチール缶	t/年	22	19	20	16	17	17	17	16	17	17	17	17	17	17	17	17	缶類(計)×33.3%[R2]
				計	t/年	51	48	50	49	51	50	50	49	50	50	50	50	50	51	51	51	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶
			原単位	g/人・日	2.9	2.8	2.9	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	時系列分析等
			ビン類	無色ビン	t/年	44	58	45	41	48	47	47	47	46	46	46	46	46	46	46	45	45
		茶色ビン		t/年	55	78	57	51	56	55	55	54	54	53	53	53	53	53	53	53	53	ビン類(計)×30.6%[R2]
		その他ビン		t/年	81	46	74	70	79	79	77	77	76	75	75	75	75	75	75	75	75	ビン類(計)×43.2%[R2]
		計	t/年	180	182	176	162	183	181	179	178	176	174	174	174	174	174	174	174	173	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶	
		原単位	g/人・日	10.4	10.5	10.3	9.5	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	時系列分析等
		特定ごみ	特定ごみ	t/年	24	26	22	26	17	18	17	16	15	14	14	13	13	13	13	11	11	
			原単位	g/人・日	1.4	1.5	1.3	1.5	1.0	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	
計	t/年	742	752	759	740	783	772	774	774	774	774	774	782	790	797	803	809	814	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶			
原単位	g/人・日	42.7	43.5	44.4	43.6	46.2	46.0	46.6	47.1	47.6	48.1	48.6	49.1	49.5	49.9	50.3	50.7	50.7	時系列分析等			
④	可燃粗大ごみ	可燃粗大ごみ	t/年	129	143	157	155	180	161	161	161	159	158	159	159	159	159	159	159	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶		
		原単位	g/人・日	7.4	8.3	9.2	9.1	10.6	9.6	9.7	9.8	9.8	9.8	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	時系列分析等	
⑤	不燃粗大ごみ	不燃粗大ごみ	t/年	108	118	131	138	169	156	161	166	169	172	175	179	182	183	185	186	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶		
		原単位	g/人・日	6.2	6.8	7.7	8.1	10.0	9.3	9.7	10.1	10.4	10.7	10.9	11.1	11.3	11.4	11.5	11.6	11.6	時系列分析等	
計(別荘ごみ除く)	t/年	8,878	8,882	9,078	9,019	9,105	9,091	9,078	9,059	9,033	9,004	9,067	9,129	9,187	9,239	9,292	9,323	9,323	可燃系ごみ+不燃系ごみ +可燃粗大ごみ+不燃粗大ごみ			
⑥	別荘ごみ	可燃ごみ	t/年	61	86	97	104	134	150	157	161	168	172	179	183	186	193	197	201	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶		
			日量	t/日	0.17	0.24	0.27	0.28	0.37	0.41	0.43	0.44	0.46	0.47	0.49	0.50	0.51	0.53	0.54	0.55	時系列分析等	
		不燃ごみ	t/年	5	7	8	8	11	11	11	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	原単位×人口×365 ^日 ×10 ⁶	
			日量	t/日	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	時系列分析等
計	t/年	66	93	105	112	145	161	168	176	183	187	194	198	201	208	212	216	216	可燃ごみ+不燃ごみ			
⑦	小売店等の資源回収	t/年	248	241	300	403	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511			
⑧	事業系ごみ	可燃ごみ	t/年	4,846	4,714	5,001	5,138	4,946	5,099	5,150	5,198	5,245	5,289	5,333	5,376	5,413	5,453	5,490	5,526	5,526	日量×365 ^日	
			日量	t/日	13.28	12.92	13.70	14.04	13.55	13.97	14.11	14.24	14.37	14.49	14.61	14.73	14.83	14.94	15.04	15.14	15.14	時系列分析等
		不燃ごみ	t/年	168	147	170	174	172	175	179	183	186	190	193	197	197	201	204	208	208	日量×365 ^日	
			日量	t/日	0.46	0.40	0.47	0.48	0.47	0.48	0.49	0.50	0.51	0.52	0.53	0.54	0.54	0.55	0.56	0.57	0.57	時系列分析等
計	t/年	5,014	4,861	5,171	5,312	5,118	5,274	5,329	5,381	5,431	5,479	5,526	5,573	5,610	5,654	5,694	5,734	5,734	可燃ごみ+不燃ごみ			
⑨	総排出量	t/年	14,206	14,077	14,654	14,846	14,879	15,037	15,086	15,127	15,158	15,181	15,298	15,411	15,509	15,612	15,709	15,784	15,784	家庭系ごみ+事業系ごみ		
原単位	g/人・日	818	814	856	874	877	896	908	920	932	943	951	958	964	970	976	983	983	総排出量×10 ⁶ ÷人口÷365 ^日			

資表 2-20 ごみ発生量の見込み（施策現状維持の場合）

		実績					見込み												備考	
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度			
人口	人	47,558	47,367	46,879	46,421	46,463	45,989	45,514	45,040	44,565	44,091	44,090	44,089	44,089	44,088	44,087	43,989			
家庭系ごみ	可燃ごみ	t/年	6,377	6,414	6,533	6,610	6,653	6,703	6,724	6,736	6,745	6,748	6,821	6,889	6,953	7,016	7,075	7,117		
	不燃ごみ	t/年	487	496	511	503	532	523	528	531	533	536	544	553	560	565	573	579		
	可燃粗大ごみ	t/年	129	143	157	155	180	161	161	161	159	158	159	159	159	159	159	159		
	不燃粗大ごみ	t/年	108	118	131	138	169	156	161	166	169	172	175	179	182	183	185	186		
	缶類	アルミ缶	t/年	29	29	30	33	34	33	33	33	33	33	33	33	33	34	34	34	
		スチール缶	t/年	22	19	20	16	17	17	17	16	17	17	17	17	17	17	17	17	
	ビン類	無色ビン	t/年	44	58	45	41	48	47	47	47	46	46	46	46	46	46	46	45	
		茶色ビン	t/年	55	78	57	51	56	55	55	54	54	53	53	53	53	53	53	53	
		その他ビン	t/年	81	46	74	70	79	79	77	77	76	75	75	75	75	75	75	75	
	紙類	新聞紙・チラシ	t/年	613	573	568	502	418	410	395	380	365	353	344	334	327	319	313	305	
		雑誌	t/年	326	298	315	280	287	281	270	260	251	242	235	230	225	220	215	210	
		牛乳パック	t/年	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		ダンボール	t/年	298	303	324	308	323	317	304	293	282	272	265	259	253	247	243	237	
		ミックス紙	t/年	155	150	150	144	139	137	131	126	122	117	114	112	109	107	105	102	
	プラ類	ペットボトル	t/年	45	46	52	51	52	53	54	56	57	58	59	61	63	64	65	67	
		プラスチック製容器包装	t/年	71	71	74	76	85	86	89	91	93	94	97	99	102	104	106	108	
		発泡スチロール・発泡トレイ	t/年	8	8	9	9	10	10	10	11	11	11	11	12	12	12	12	13	
	布類	t/年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	計	t/年	1,753	1,685	1,724	1,587	1,554	1,530	1,487	1,449	1,412	1,376	1,354	1,336	1,320	1,303	1,289	1,271		
	特定・危険ごみ	t/年	24	26	22	26	17	18	17	16	15	14	14	13	13	13	11	11		
計	t/年	8,878	8,882	9,078	9,019	9,105	9,091	9,078	9,059	9,033	9,004	9,067	9,129	9,187	9,239	9,292	9,323			
別荘ごみ	可燃ごみ	t/年	61	86	97	104	134	150	157	161	168	172	179	183	186	193	197	201		
	不燃ごみ	t/年	5	7	8	8	11	11	11	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
	計	t/年	66	93	105	112	145	161	168	176	183	187	194	198	201	208	212	216		
小売店等の資源回収	t/年	248	241	300	403	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511			
事業系ごみ	可燃ごみ	t/年	4,846	4,714	5,001	5,138	4,946	5,099	5,150	5,198	5,245	5,289	5,333	5,376	5,413	5,453	5,490	5,526		
	不燃ごみ	t/年	168	147	170	174	172	175	179	183	186	190	193	197	197	201	204	208		
	計	t/年	5,014	4,861	5,171	5,312	5,118	5,274	5,329	5,381	5,431	5,479	5,526	5,573	5,610	5,654	5,694	5,734		
総排出量	t/年	14,206	14,077	14,654	14,846	14,879	15,037	15,086	15,127	15,158	15,181	15,298	15,411	15,509	15,612	15,709	15,784			
	原単位	g/人・日	818	814	856	874	877	896	908	920	932	943	951	958	964	970	976	983		

資表 2-21 収集運搬量（施策現状維持の場合）

（単位：t/年）

	実績					見込											備考		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度			
家庭系ごみ	可燃ごみ	6,438	6,500	6,630	6,714	6,787	6,853	6,881	6,897	6,913	6,920	7,000	7,072	7,139	7,209	7,272	7,318		
	不燃ごみ	492	503	519	511	543	534	539	546	548	551	559	568	575	580	588	594		
	粗大ごみ	可燃性	129	143	157	155	180	161	161	161	159	158	159	159	159	159	159	159	
		不燃性	108	118	131	138	169	156	161	166	169	172	175	179	182	183	185	186	
	資源物(特定ごみ含む)	1,777	1,711	1,746	1,613	1,571	1,548	1,504	1,465	1,427	1,390	1,368	1,349	1,333	1,316	1,300	1,282		
計	8,944	8,975	9,183	9,131	9,250	9,252	9,246	9,235	9,216	9,191	9,261	9,327	9,388	9,447	9,504	9,539			

資表 2-22 可燃ごみ溶融施設の処理量（施策現状維持の場合）

（単位：t/年）

	実績					見込											備考		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度			
搬入量	可燃ごみ	11,621	11,654	12,092	12,191	11,912	12,113	12,192	12,256	12,317	12,367	12,492	12,607	12,711	12,821	12,921	13,003	可燃ごみ+可燃粗大ごみ+別荘可燃ごみ	
	不燃ごみ	781	781	834	826	884	865	879	895	903	913	927	944	954	964	977	988	不燃ごみ+不燃粗大ごみ+別荘不燃ごみ	
	計	12,402	12,435	12,926	13,017	12,796	12,978	13,071	13,151	13,220	13,280	13,419	13,551	13,665	13,785	13,898	13,991		
処理量	直接焼却量	12,109	12,148	12,614	12,823	12,796	12,783	12,875	12,954	13,022	13,081	13,218	13,348	13,460	13,578	13,690	13,781		
処理後	資源化量	焼却残渣量	370	385	396	438	409	441	444	447	449	452	456	461	465	469	473	476	
		金属類	267	259	280	274	313	273	274	276	278	279	282	285	287	289	292	294	
		溶融スラグ	665	742	764	757	724	753	758	763	767	770	778	786	793	800	806	811	
		その他	26	28	30	32	35	26	26	26	26	27	27	27	27	28	28	28	
計	958	1,029	1,074	1,063	1,072	1,052	1,058	1,065	1,071	1,076	1,087	1,098	1,107	1,117	1,126	1,133			

資表 2-23 リサイクルプラザの処理量（施策現状維持の場合）

（単位：t/年）

	実績					見込											備考	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度		
搬入量	粗大ごみ	12	14	19	20	15	23	23	24	25	25	25	26	26	27	27	27	
処理量		12	14	19	20	15	23	23	24	25	25	25	26	26	27	27	27	
処理後	資源化量	金属類	12	14	19	20	15	23	23	24	25	25	26	26	27	27	27	

資表 2-24 その他資源化施設（民間委託施設）の処理量（施策現状維持の場合）

（単位：t/年）

	実績					見込											備考		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度			
搬入量	資源ごみ	1,853	1,786	1,828	1,687	1,659	1,529	1,486	1,448	1,411	1,375	1,353	1,335	1,319	1,302	1,288	1,270		
	その他	24	26	22	26	16	18	17	16	15	14	14	13	13	11	11			
	計	1,877	1,812	1,850	1,713	1,675	1,547	1,503	1,464	1,426	1,389	1,367	1,348	1,332	1,315	1,299	1,281		
処理量		1,877	1,812	1,850	1,713	1,675	1,547	1,503	1,464	1,426	1,389	1,367	1,348	1,332	1,315	1,299	1,281		
処理後	資源化量	紙類	1,488	1,422	1,457	1,331	1,269	1,145	1,100	1,059	1,020	984	958	935	914	893	876	854	
		紙パック	5	4	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		金属類	52	49	50	50	51	50	50	49	50	50	50	50	50	51	51	51	
		ガラス類	180	182	176	163	184	181	179	178	176	174	174	174	174	174	174	173	
		ペットボトル	46	47	54	52	54	53	54	56	57	58	59	61	63	64	65	67	
		発泡トレイ	8	8	9	9	10	10	10	11	11	11	11	12	12	12	12	13	
		プラスチック製容器包装	72	72	75	77	85	86	89	91	93	94	97	99	102	104	106	108	
		布類	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		その他	24	26	22	26	16	18	17	16	15	14	14	13	13	13	11	11	
計	1,877	1,812	1,850	1,713	1,675	1,547	1,503	1,464	1,426	1,389	1,367	1,348	1,332	1,315	1,299	1,281			

資表 2-25 最終処分量（施策現状維持の場合）

（単位：t/年）

	実績					見込み											備考
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
焼却残渣量	370	385	396	438	409	441	444	447	449	452	456	461	465	469	473	476	

資表 2-26 資源化量（施策現状維持の場合）

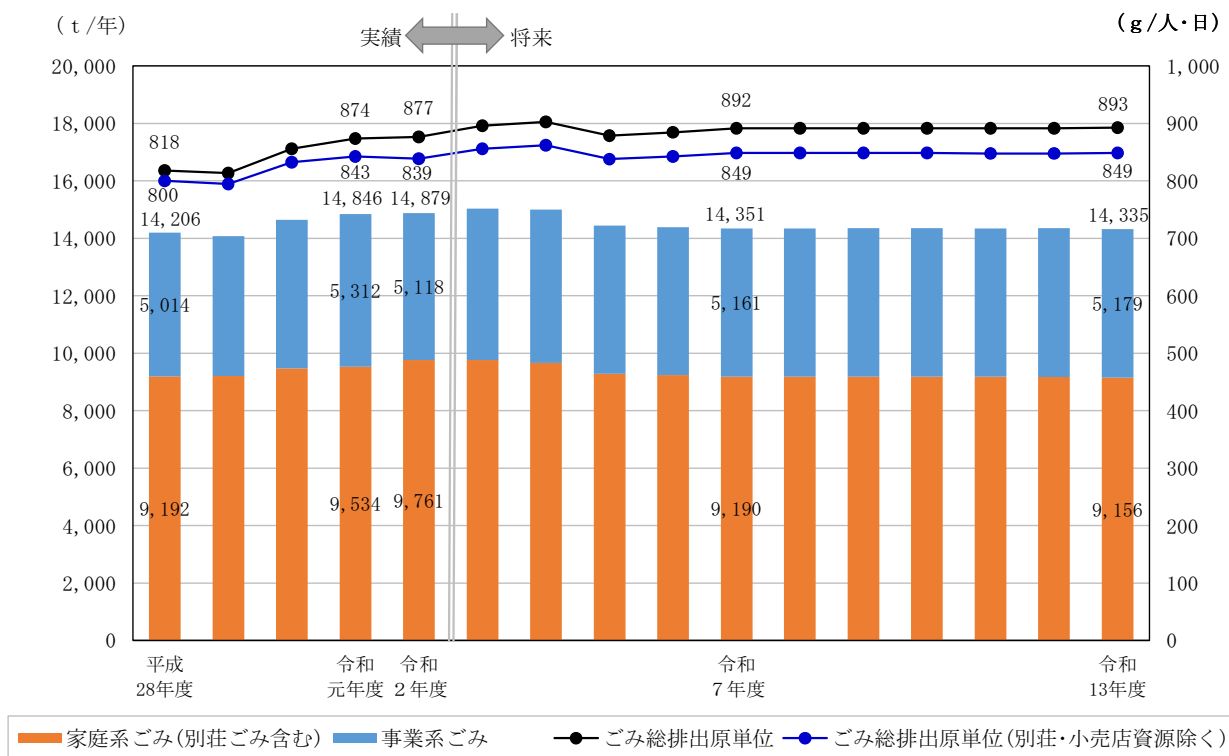
（単位：t/年）

	実績					見込み											備考
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
ごみ総排出量	14,206	14,077	14,654	14,846	14,879	15,037	15,086	15,127	15,158	15,181	15,298	15,411	15,509	15,612	15,709	15,784	
資源化量	直接資源化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	焼却施設からの資源化量	958	1,029	1,074	1,063	1,072	1,052	1,058	1,065	1,071	1,076	1,087	1,098	1,107	1,117	1,126	1,133
	粗大ごみ処理施設からの資源化量	12	14	19	20	15	23	23	24	25	25	25	26	26	27	27	27
	資源化施設からの資源化量	1,877	1,812	1,850	1,713	1,675	1,547	1,503	1,464	1,426	1,389	1,367	1,348	1,332	1,315	1,299	1,281
	小売店等の資源回収	248	241	300	403	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511
計	3,095	3,096	3,243	3,199	3,273	3,133	3,095	3,064	3,033	3,001	2,990	2,983	2,976	2,970	2,963	2,952	
リサイクル率	21.8%	22.0%	22.1%	21.5%	22.0%	20.8%	20.5%	20.3%	20.0%	19.8%	19.5%	19.4%	19.2%	19.0%	18.9%	18.7%	

2-5 ごみ処理量の見込み〔目標達成時の場合〕

ごみ処理量の見込み（目標達成時の場合）は、資図2-17、資表2-27に示すとおりです。令和13年度に総排出量14,335t/年、原単位893g/人・日となります。令和元年度実績値（14,846t/年、874g/人・日）に対し、ごみ総排出量511tの減少、ごみ総排出量原単位19g/人・日の増加となります。

家庭系ごみ、事業系ごみ別にみると、家庭系ごみは378tの減少、事業系ごみは133tの減少となります。



資図2-17 ごみ処理量の推移（目標達成時の場合）

資表2-27 ごみ処理量の見込み(目標達成時の場合)

		実績																備考			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度				
家庭系ごみ	人	人	47,558	47,367	46,879	46,421	46,463	45,989	45,514	45,040	44,565	44,091	44,090	44,089	44,089	44,088	44,087	43,989			
	可燃ごみ(施策現状維持)	g/人・日	367.38	370.98	381.88	388.98	392.28	399.28	404.78	409.78	414.68	419.38	423.88	428.08	432.08	435.98	439.68	443.28			
		牛乳パックの分別徹底	g/人・日							-0.1	-0.2	-0.3	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	0.4g/人・日[R7]	
		ペットボトルの分別徹底	g/人・日							-0.5	-1.0	-1.5	-2.0	-2.0	-2.1	-2.1	-2.1	-2.1	-2.1	2g/人・日[R7]	
		プラ製容器包装の分別徹底	g/人・日							-0.9	-1.8	-2.6	-3.5	-3.5	-3.6	-3.6	-3.6	-3.7	-3.7	3.5g/人・日[R7]	
		発泡トレイの分別徹底	g/人・日							-1.3	-2.5	-3.8	-5.0	-5.1	-5.1	-5.2	-5.2	-5.2	-5.3	5g/人・日[R7]	
		食品廃棄物の削減	g/人・日				(57.0)			-5.1	-6.6	-8.0	-9.5	-11.0	-12.5	-13.9	-15.4	-15.4	-15.4	15%[R4]削減、40%[R11]削減	
		その他の排出抑制	g/人・日							-20.37	-21.17	-21.67	-24.57	-27.17	-29.57	-31.97	-35.57	-39.07			
		可燃ごみ(目標達成時)	g/人・日	367.38	370.98	381.88	388.98	392.28	399.28	396.88	377.31	377.31	377.31	377.31	377.31	377.31	377.31	377.31	377.31		
			t/年	6,377	6,414	6,533	6,610	6,653	6,703	6,593	6,203	6,137	6,072	6,072	6,072	6,072	6,072	6,072	6,058		
		不燃ごみ(施策現状維持)	g/人・日	28.0	28.7	29.9	29.7	31.4	31.1	31.8	32.3	32.8	33.3	33.8	34.4	34.8	35.1	35.6	36.0		
			g/人・日							-0.3	-0.5	-0.8	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0	-1.1	-1.1	-1.1	1g/人・日[R7]	
		ビン類の分別徹底	g/人・日							-3.8	-7.5	-11.3	-15.0	-15.2	-15.5	-15.7	-15.8	-16.0	-16.2	15g/人・日[R7]	
		不燃ごみ(目標達成時)	g/人・日	28.0	28.7	29.9	29.7	31.4	31.1	27.7	24.3	20.7	17.3	17.6	17.9	18.1	18.2	18.5	18.7		
			t/年	487	496	511	503	532	523	460	399	337	278	283	288	291	293	298	300		
		可燃粗大ごみ	t/年	129	143	157	155	180	161	161	161	159	158	159	159	159	159	159	159		
		不燃粗大ごみ	t/年	108	118	131	138	169	156	161	166	169	172	175	179	182	183	185	186		
	資源物	缶類	アルミ缶	t/年	29	29	30	33	34	33	33	33	33	33	33	33	34	34	34		
			スチール缶	t/年	22	19	20	16	17	17	17	16	17	17	17	17	17	17	17	17	
			缶類の回収拡大分	t/年							5	8	13	16	16	16	16	18	18	18	
		ビン類	無色ビン	t/年	44	58	45	41	48	47	47	47	46	46	46	46	46	46	46	45	
			茶色ビン	t/年	55	78	57	51	56	55	55	54	54	53	53	53	53	53	53	53	
			その他ビン	t/年	81	46	74	70	79	79	77	77	76	75	75	75	75	75	75	75	
			ビン類の回収拡大分	t/年							63	123	184	241	245	249	253	254	257	260	
		紙類	新聞紙・チラシ	t/年	613	573	568	502	418	410	395	380	365	353	344	334	327	319	313	305	
			雑誌	t/年	326	298	315	280	287	281	270	260	251	242	235	230	225	220	215	210	
牛乳パック			t/年	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
牛乳パックの回収拡大分			t/年							2	3	5	6	6	6	6	6	6	6		
ダンボール			t/年	298	303	324	308	323	317	304	293	282	272	265	259	253	247	243	237		
プラ類		ミックス紙	t/年	155	150	150	144	139	137	131	126	122	117	114	112	109	107	105	102		
		ペットボトル	t/年	45	46	52	51	52	53	54	56	57	58	59	61	63	64	65	67		
		ペットボトルの回収拡大分	t/年							8	16	24	32	32	32	34	34	34	34		
		プラスチック製容器包装	t/年	71	71	74	76	85	86	89	91	93	94	97	99	102	104	106	108		
		プラ製容器包装の回収拡大分	t/年							15	30	42	56	56	58	58	58	60	59		
布類		発泡スチロール・発泡トレイ	t/年	8	8	9	9	10	10	10	11	11	11	11	12	12	12	12	13		
		発泡トレイの回収拡大分	t/年							22	41	62	80	82	82	84	84	84	85		
	計	t/年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
	計	t/年	1,753	1,685	1,724	1,587	1,554	1,530	1,602	1,670	1,742	1,807	1,791	1,779	1,771	1,757	1,748	1,733			
	特定・危険ごみ	t/年	24	26	22	26	17	18	17	16	15	14	13	13	13	11	11	11			
	計	t/年	8,878	8,882	9,078	9,019	9,105	9,091	8,994	8,615	8,559	8,501	8,494	8,490	8,488	8,477	8,473	8,447			
別荘ごみ	可燃ごみ(施策現状維持)	t/年	61	86	97	104	134	150	157	161	168	172	179	183	186	193	197	201			
		ペットボトルの分別収集開始	t/年								-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1			
		その他の排出抑制	t/年							-8	-9	-9	-10	-12	-13	-14	-16	-18			
		可燃ごみ(目標達成時)	t/年	61	86	97	104	134	150	157	152	158	162	168	170	172	178	180	182		
		不燃ごみ(施策現状維持)	t/年	5	7	8	8	11	11	11	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
		缶類の分別収集開始	t/年								-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1		
		ビン類の分別収集開始	t/年								-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3		
		不燃ごみ(目標達成時)	t/年	5	7	8	8	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11		
	資源物(仮)	ペットボトル	t/年								1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		缶類	t/年								1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	ビン類	t/年								3	3	3	3	3	3	3	3	3			
	計	t/年	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
	計	t/年	66	93	105	112	145	161	168	168	174	178	184	186	188	194	196	198			
	小売店等の資源回収	t/年	248	241	300	403	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511			
系	可燃ごみ(施策現状維持)	t/日	13.28	12.92	13.70	14.04	13.55	13.97	14.11	14.24	14.37	14.49	14.61	14.73	14.83	14.94	15.04	15.14			
		その他の排出抑制	t/日							-0.62	-0.75	-0.87	-0.99	-1.11	-1.21	-1.32	-1.42	-1.52			
		可燃ごみ(目標達成時)	t/日	13.28	12.92	13.70	14.04	13.55	13.97	14.11	13.62	13.62	13.62	13.62	13.62	13.62	13.62	13.62	13.62		
		不燃ごみ	t/年	4,846	4,714	5,001	5,138	4,946	5,099	5,150	4,971	4,971	4,971	4,971	4,971	4,971	4,971	4,971	4,971		
		計	t/年	5,014	4,861	5,171	5,312	5,118	5,274	5,329	5,154	5,157	5,161	5,164	5,168	5,168	5,172	5,175	5,179		
	総排出量	t/年	14,206	14,077	14,654	14,846	14,879	15,037	15,002	14,448	14,401	14,351	14,353	14,355	14,355	14,354	14,355	14,335			
	原単位	g/人・日	818	814	856	874	877	896	903	879	885	892	892	892	892	892	892	893			

資表2-28 収集運搬量（目標達成時の場合）

(単位：t/年)

		実績					見込み											備考	
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度		
家庭系ごみ	可燃ごみ	6,438	6,500	6,630	6,714	6,787	6,853	6,750	6,355	6,295	6,234	6,240	6,242	6,244	6,250	6,252	6,240		
	不燃ごみ	492	503	519	511	543	534	471	410	348	289	294	299	302	304	309	311		
	粗大ごみ	可燃性	129	143	157	155	180	161	161	161	159	158	159	159	159	159	159	159	
		不燃性	108	118	131	138	169	156	161	166	169	172	175	179	182	183	185	186	
	資源物(特定ごみ含む)	1,777	1,711	1,746	1,613	1,571	1,548	1,619	1,691	1,762	1,826	1,810	1,797	1,789	1,775	1,764	1,749		
計	8,944	8,975	9,183	9,131	9,250	9,252	9,162	8,783	8,733	8,679	8,678	8,676	8,676	8,671	8,669	8,645			

資表2-29 可燃ごみ溶融施設の処理量（目標達成時の場合）

(単位：t/年)

		実績					見込み											備考	
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度		
搬入量	可燃ごみ	11,621	11,654	12,092	12,191	11,912	12,113	12,061	11,487	11,425	11,363	11,370	11,372	11,374	11,380	11,382	11,370	可燃ごみ+可燃粗大ごみ+別荘可燃ごみ	
	不燃ごみ	781	781	834	826	884	865	811	759	703	651	662	675	681	688	698	705	不燃ごみ+不燃粗大ごみ+別荘不燃ごみ	
	計	12,402	12,435	12,926	13,017	12,796	12,978	12,872	12,246	12,128	12,014	12,032	12,047	12,055	12,068	12,080	12,075		
処理量	直接焼却量	12,109	12,148	12,614	12,823	12,796	12,783	12,679	12,062	11,946	11,834	11,852	11,866	11,874	11,887	11,899	11,894		
処理後	資源化量	焼却残渣量	370	385	396	438	409	441	438	416	412	408	409	410	410	410	411	411	
		金属類	267	259	280	274	313	273	270	257	255	252	253	253	253	254	254	254	
		溶融スラグ	665	742	764	757	724	753	747	710	703	697	698	699	699	700	701	700	
		その他	26	28	30	32	35	26	26	24	24	24	24	24	24	24	24	24	
		計	958	1,029	1,074	1,063	1,072	1,052	1,043	991	982	973	975	976	976	977	979	978	

資表2-30 リサイクルプラザの処理量（目標達成時の場合）

(単位：t/年)

		実績					見込み											備考
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
搬入量	粗大ごみ	12	14	19	20	15	23	23	24	25	25	25	26	26	27	27	27	
処理量		12	14	19	20	15	23	23	24	25	25	25	26	26	27	27	27	
処理後	資源化量	12	14	19	20	15	23	23	24	25	25	25	26	26	27	27	27	

資表2-31 資源化施設（民間委託施設）の処理量（目標達成時の場合）

(単位：t/年)

		実績					見込み											備考	
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度		
搬入量	資源ごみ	1,853	1,786	1,828	1,687	1,659	1,529	1,601	1,674	1,746	1,811	1,795	1,783	1,775	1,761	1,752	1,737		
	その他	24	26	22	26	16	18	17	16	15	14	14	13	13	13	11	11		
	計	1,877	1,812	1,850	1,713	1,675	1,547	1,618	1,690	1,761	1,825	1,809	1,796	1,788	1,774	1,763	1,748		
処理量		1,877	1,812	1,850	1,713	1,675	1,547	1,618	1,690	1,761	1,825	1,809	1,796	1,788	1,774	1,763	1,748		
処理後	資源化量	紙類	1,488	1,422	1,457	1,331	1,269	1,145	1,100	1,059	1,020	984	958	935	914	893	876	854	
		紙パック	5	4	5	4	4	3	5	6	8	9	9	9	9	9	9	9	
		金属類	52	49	50	50	51	50	55	58	64	67	67	67	67	70	70	70	
		ガラス類	180	182	176	163	184	181	242	304	363	418	422	426	430	431	434	436	
		ペットボトル	46	47	54	52	54	53	62	73	82	91	92	94	98	99	100	102	
		発泡トレイ	8	8	9	9	10	10	32	52	73	91	93	94	96	96	96	98	
		プラスチック製容器包装	72	72	75	77	85	86	104	121	135	150	153	157	160	162	166	167	
		布類	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		その他	24	26	22	26	16	18	17	16	15	14	14	13	13	13	11	11	
計	1,877	1,812	1,850	1,713	1,675	1,547	1,618	1,690	1,761	1,825	1,809	1,796	1,788	1,774	1,763	1,748			

資表 2-32 最終処分量（目標達成時の場合）

(単位：t/年)

	実績					見込み											備考
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
焼却残渣量	370	385	396	438	409	441	438	416	412	408	409	410	410	410	411	411	

資表 2-33 資源化量（目標達成時の場合）

(単位：t/年)

	実績					見込み											備考
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
ごみ総排出量	14,206	14,077	14,654	14,846	14,879	15,037	14,944	14,450	14,403	14,353	14,355	14,358	14,358	14,357	14,358	14,339	
資源化量	直接資源化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	焼却施設からの資源化量	958	1,029	1,074	1,063	1,072	1,052	1,038	991	983	973	975	976	976	977	979	979
	粗大ごみ処理施設からの資源化量	12	14	19	20	15	23	23	24	25	25	25	26	26	27	27	27
	資源化施設からの資源化量	1,877	1,812	1,850	1,713	1,675	1,547	1,618	1,691	1,761	1,825	1,809	1,796	1,788	1,774	1,763	1,748
	小売店等の資源回収	248	241	300	403	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511	511
計	3,095	3,096	3,243	3,199	3,273	3,133	3,190	3,217	3,280	3,334	3,320	3,309	3,301	3,289	3,280	3,265	
リサイクル率	21.8%	22.0%	22.1%	21.5%	22.0%	20.8%	21.3%	22.3%	22.8%	23.2%	23.1%	23.0%	23.0%	22.9%	22.8%	22.8%	

3 排出抑制・資源化等の目標設定

中間目標年度である令和7年度の目標値を、以下に示します。

3-1 家庭系ごみの資源化拡大

資源化拡大として、県内でも類似都市である山梨市、韮崎市、甲州市及び中央市の最大値の8割回収を目指します。

紙パック（牛乳パック）は、可燃ごみより0.4g/人・日の回収拡大を目指します。

$$0.6 \text{ g/人・日 (4市最大80\%)} - 0.2 \text{ g/人・日 (北杜市)} = 0.4 \text{ g/人・日}$$

金属類（缶類）は、不燃ごみより1g/人・日の回収拡大を目指します。

$$21 \text{ g/人・日 (4市最大80\%)} - 20 \text{ g/人・日 (北杜市)} = 1 \text{ g/人・日}$$

ガラス類（ビン類）は、不燃ごみより15g/人・日の回収拡大を目指します。

$$25 \text{ g/人・日 (4市最大80\%)} - 10 \text{ g/人・日 (北杜市)} = 15 \text{ g/人・日}$$

ペットボトルは、可燃ごみより2g/人・日の回収拡大を目指します。

$$5 \text{ g/人・日 (4市最大80\%)} - 3 \text{ g/人・日 (北杜市)} = 2 \text{ g/人・日}$$

白色トレイ（発泡トレイ）は、可燃ごみより5g/人・日の回収拡大を目指します。

$$9 \text{ g/人・日 (4市最大80\%)} - 4 \text{ g/人・日 (北杜市)} = 5 \text{ g/人・日}$$

容器包装プラ（プラスチック製容器包装）は、可燃ごみより3.5g/人・日の回収拡大を目指します。

$$4.0 \text{ g/人・日 (4市平均)} - 0.5 \text{ g/人・日 (北杜市)} = 3.5 \text{ g/人・日}$$

■ 県内市の資源化量（直接資源化量+中間処理後再生利用量+集団回収量）

県内市の資源化量は、資表3-1に示すとおりです。中でも北杜市の類似都市は、山梨市、韮崎市、甲州市及び中央市の4市です。

資表3-1 資源化量（直接資源化量+中間処理後再生利用量+集団回収量）

	総人口 人	紙類 (紙パック, 紙容器除く)		紙パック		金属類		ガラス類		ペットボトル		白色トレイ		容器包装プラ	
		t/年	g/人・日	t/年	g/人・日	t/年	g/人・日	t/年	g/人・日	t/年	g/人・日	t/年	g/人・日	t/年	g/人・日
甲府市	187,913	6,574	96	52	0.8	1,412	21	1,302	19	429	6	591	9	6	0.1
富士吉田市	48,687	487	27	4	0.2	393	22	404	23	13	1	0	0	3	0.2
都留市	30,290	475	43	2	0.2	263	24	41	4	39	4	0	0	0	0.0
山梨市	34,648	1,198	94	8	0.6	179	14	389	31	68	5	97	8	0	0.0
大月市	23,836	541	62	3	0.3	237	27	44	5	42	5	0	0	1	0.1
韮崎市	29,472	518	48	3	0.3	283	26	49	5	20	2	0	0	2	0.2
南アルプス市	71,574	1,147	44	4	0.2	299	11	158	6	61	2	83	3	0	0.0
北杜市	46,809	1,331	78	4	0.2	344	20	163	10	52	3	77	4	9	0.5
甲斐市	75,809	1,815	65	18	0.6	481	17	290	10	168	6	172	6	5	0.2
笛吹市	69,324	2,458	97	10	0.4	773	30	429	17	214	8	326	13	0	0.0
上野原市	23,063	890	105	0	0.0	260	31	187	22	34	4	0	0	0	0.0
甲州市	31,363	1,059	92	8	0.7	59	5	160	14	73	6	126	11	1	0.1
中央市	30,876	651	58	7	0.6	166	15	90	8	53	5	0	0	61	5.4
4市最大80%			75		0.6		21		25		5		9		4.0

資料：一般廃棄物処理実態調査（令和元年度）

3-2 家庭系ごみの排出抑制

(1) 食品廃棄物（食品ロス）の削減

本市の「食品廃棄物（食品ロス）削減推進計画」により、令和元年度を基準とし、3年後（令和4年度）に9%削減、10年後（令和11年度）に27%削減を目指します。

令和4年度：57g/人・日*（令和元年度の食品ロス）×9%=5.1g/人・日

令和11年度：57g/人・日×27%=13.4g/人・日

*資料：総務省人口推計（2019年10月1日）令和元年度食料需給表（確定値）

本計画の令和7年度には16.7%（9%と27%の等差）の削減となり、9.5g/人・日の削減を目指します。令和11年度以降は27%削減一定とします。

令和7年度：57g/人・日×16.7%=9.5g/人・日

(2) その他の排出抑制

可燃ごみ袋の価格は、現在、大袋15円/枚です。本計画において、ごみ袋料金の見直しにより、仮に20円/枚とした場合を想定します。5円/枚上げることにより、下記6.0%の半分である3.0%削減が図れるとします。

資図3-1より、20円/枚が7.4%削減、30円/枚が13.4%削減となっています。10円/枚上げることにより、6.0%（=13.4%-7.4%）削減が図れることと想定します。

令和7年度：388.98g/人・日（可燃ごみ[令和元年度]）×97.0%×=377.31g/人・日

以上、家庭系ごみの資源化拡大及び排出抑制を整理すると、資表3-2に示すとおりとなります。

資表3-2 家庭系可燃ごみ排出量の見込み

（単位：g/人・日）

	実績		見込み		備考
	令和元年度	令和2年度	令和7年度	令和13年度	
可燃ごみ(施策現状維持)	388.98	392.28	419.38	443.28	
牛乳パックの分別徹底			-0.4	-0.4	「3-1 家庭系ごみの資源化拡大」より、令和7年度に0.4g/人・日の資源化拡大を目指す。
ペットボトルの分別徹底			-2.0	-2.1	「3-1 家庭系ごみの資源化拡大」より、令和7年度に2.0g/人・日の資源化拡大を目指す。
プラ製容器包装の分別徹底			-3.5	-3.7	「3-1 家庭系ごみの資源化拡大」より、令和7年度に3.5g/人・日の資源化拡大を目指す。
発泡トレイの分別徹底			-5.0	-5.3	「3-1 家庭系ごみの資源化拡大」より、令和7年度に5.0g/人・日の資源化拡大を目指す。
食品廃棄物の削減	(57.0)		-9.5	-15.4	「3-2 (1)食品廃棄物（食品ロス）の削減」より、令和7年度に14.6g/人・日の排出抑制を目指す。
その他の排出抑制			-21.67	-39.07	「3-2 (2)その他の排出抑制」より、令和7年度に約22g/人・日、令和13年度に約39g/人・日の排出抑制を目指す。
可燃ごみ(目標達成時)	388.98	392.28	377.31	377.31	

注) 食品廃棄物の削減の(57.0)は食品ロス量を示します。

3-3 事業系ごみの排出抑制

事業系ごみの排出抑制として、家庭系ごみと同等の排出抑制を図ることとします。

令和7年度：14.04 t/日（可燃ごみ[令和元年度]）×97.0%×=13.62 t/日

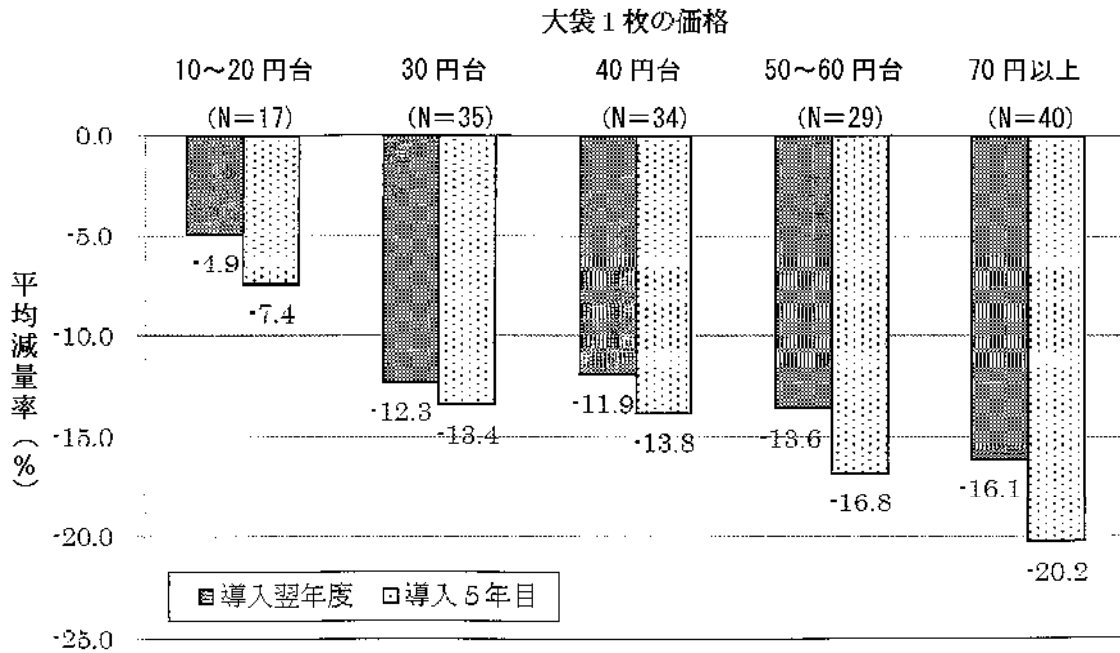
資表3-3 事業系ごみ排出量の見込み

(単位：t/日)

	実績		見通し	
	令和元年度	令和2年度	令和7年度	令和13年度
可燃ごみ(施策現状維持)	14.04	13.55	14.49	15.14
排出抑制			-0.87	-1.52
可燃ごみ(目標達成時)	14.04	13.55	13.62	13.62

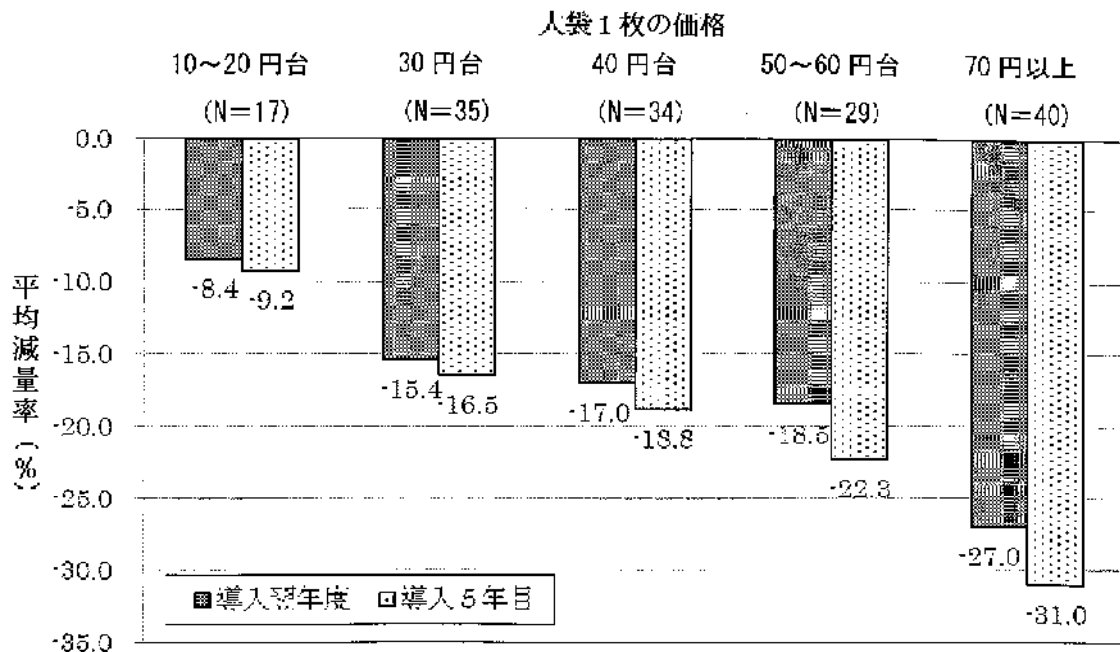
■有料化によるごみ減量効果

家庭ごみ排出原単位の減量効果（導入前年度比）を価格帯別に、有料化導入の翌年度と5年目の年度について示したものです。



注) 有料化導入前年度比での家庭ごみ排出原単位の平均減量率で表記。

資図3-1 手数料水準と家庭ごみ排出原単位の減量効果
(平成12年度以降有料化導入、単純従量制155市)



注) 有料化導入前年度比での家庭処分ごみ排出原単位の平均減量率で表記。

資図3-2 手数料水準と家庭処分ごみ排出原単位の減量効果
(平成12年度以降有料化導入、単純従量制155市)

資料:「家庭ごみ有料化のごみ減量効果(都市と廃棄物 Vol.48 No.7)」(平成30年)

3-4 別荘ごみの資源ごみ収集開始

別荘からの資源ごみとして、分別が容易かつ比較的量が見込めるペットボトル、缶類、ビン類の分別を想定します。

ペットボトル（令和7年度）：

$$172 \text{ t/年（可燃ごみ[令和7年度]）} \times 0.6\% \text{（可燃系ごみにおけるペットボトルの比率）} \\ = 1 \text{ t/年}$$

缶類（令和7年度）：

$$15 \text{ t/年（不燃ごみ[令和7年度]）} \times 6.9\% \text{（不燃系ごみにおける缶類の比率）} = 1 \text{ t/年}$$

ビン類（令和7年度）：

$$15 \text{ t/年（不燃ごみ[令和7年度]）} \times 22.7\% \text{（不燃系ごみにおけるビン類の比率）} \\ = 3 \text{ t/年}$$

4 処理形態別人口の実績

処理形態別人口の実績は、資表4-1に示すとおりとします。

資表4-1 処理形態別人口の実績

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1 計画処理区域内人口	47,558	47,367	46,879	46,421	46,463
2 汚水衛生処理人口	40,043	40,034	39,697	39,328	39,343
(1) 公共下水道水洗化人口	23,943	23,895	23,490	23,281	23,311
(2) 農業集落排水処理人口	11,029	11,014	10,982	10,954	10,948
(3) コミュニティ・プラント人口	0	0	0	0	0
(4) 合併処理浄化槽人口	5,071	5,125	5,225	5,093	5,084
3 非水洗化人口	7,515	7,333	7,182	7,093	7,120
(1) 単独処理浄化槽人口	4,206	4,214	4,606	4,556	4,574
(2) 非水洗化（汲み取り）人口	3,309	3,119	2,576	2,537	2,546
4 自家処理人口	0	0	0	0	0
汚水衛生処理率（%）	84.2%	84.5%	84.7%	84.7%	84.7%

- ・2(1)公共下水道水洗化人口、2(2)農業集落排水処理人口及び2(4)合併処理浄化槽人口は、上下水道施設課提供数値です。
- ・3(1)単独処理浄化槽及び3(2)非水洗化（汲み取り人口）は、計画処理区域内人口から上記3つの処理形態別人口を差し引き、一般廃棄物処理実態調査数値で比率案分したものです。

5 処理形態別人口の予測

5-1 公共下水道水洗化人口の予測

公共下水道水洗化人口は、市の下水道計画による将来の整備人口に想定される水洗化率を乗じて算定します。水洗化率は、他事例等から令和13年度に85%となることを想定します。本市における下水道人口による水洗化人口計画値を資表5-1に示します。

資表5-1 公共下水道水洗化人口の予測

		実績	見 通 し				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
下水道整備人口	人	28,694	28,375	28,056	27,737	27,418	27,107
水洗化率	—	81.2%	81.6%	81.9%	82.3%	82.6%	83.0%
下水道接続人口	人	23,311	23,140	22,978	22,814	22,647	22,485

		見 通 し					
		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
下水道整備人口	人	26,778	26,449	26,120	25,791	25,472	25,132
水洗化率	—	83.3%	83.7%	84.0%	84.4%	84.7%	85.0%
下水道接続人口	人	22,306	22,125	21,941	21,755	21,575	21,362

5-2 農業集落排水処理人口の予測

農業集落排水処理人口は、令和2年度実績と令和13年度の整備人口を直線補間します。

資表5-2 農業集落排水処理人口の予測

		実績	見 通 し				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
農業集落排水整備人口	人	10,372	10,256	10,140	10,024	9,908	9,799
水洗化率	—	—	—	—	—	—	—
農業集落排水接続人口	人	10,948	10,779	10,609	10,440	10,270	10,101

		見 通 し					
		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
農業集落排水整備人口	人	9,680	9,561	9,442	9,323	9,206	9,084
水洗化率	—	—	—	—	—	—	—
農業集落排水接続人口	人	9,931	9,762	9,592	9,423	9,253	9,084

5-3 公共下水道水洗化人口・農業集落排水処理人口以外の予測

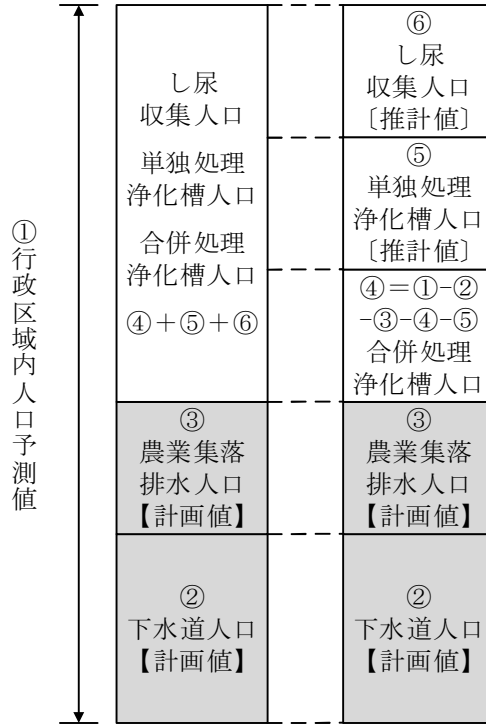
合併処理浄化槽、単独処理浄化槽人口及びし尿収集人口は、トレンド推計（時系列分析）を行います。

時系列分析結果の値をそのまま採用すると、計画処理人口と各推計人口の計が、行政区域内人口と一致しません。

そのため、次に示す手順に基づき、計画処理人口を設定します。

〔予測方法〕

1. 〔①行政区域内人口－②下水道人口－③農業集落排水人口〕の人口が、〔④合併処理浄化槽人口＋⑤単独処理浄化槽人口＋⑥し尿収集人口〕になります。
2. ⑤単独処理浄化槽人口及び⑥し尿収集人口を時系列分析により推計します。
3. ④＝①－②－③－⑤－⑥とします。



資図5-1 設定方法のイメージ

資表5-3 処理形態別人口の選定の考え方

	選定の考え方
	将来は、相関係数の高い数式を、将来を示す線形とします。
⑤単独処理浄化槽人口	対数式
⑥し尿収集人口	対数式

⑤単独処理浄化槽人口

資表 5-4 単独処理浄化槽人口の実績及び推計

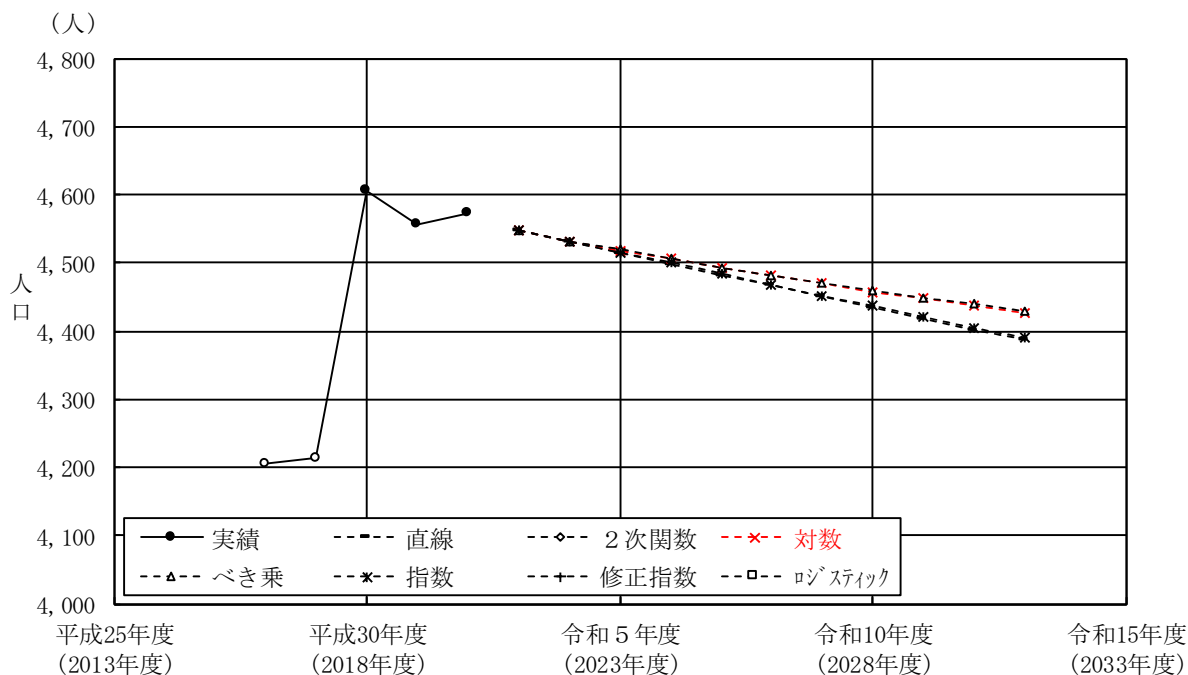
【実績値】 (人)		予 測 式	
年度	原単位	区 分	
2016(平成28)	(4,206)	直線	$Y=(-16.0000)X+(4882.67)$
2017(平成29)	(4,214)	2次関数	
2018(平成30)	4,606	対数	$Y=(-309.312)\log X+(5489.13)$
2019(令和元)	4,556	べき乗	$Y=(5583.23)X^{-0.06739}$
2020(令和2)	4,574	指数	$Y=(4892.14)*(0.9965)^X$
		修正指数	
		ロジスティック	
		Y：予測値 X：西暦年度(下2桁)	

注) 空欄は推計式が適用できず計算不能のため推計結果無し。

【推計値】 (単位：人)								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	
2021(令和3)	4,547		4,547	4,548	4,547			
2022(令和4)	4,531		4,533	4,533	4,531			
2023(令和5)	4,515		4,519	4,520	4,515			
2024(令和6)	4,499		4,506	4,507	4,500			
2025(令和7)	4,483		4,493	4,494	4,484			
2026(令和8)	4,467		4,481	4,483	4,468			
2027(令和9)	4,451		4,470	4,471	4,453			
2028(令和10)	4,435		4,458	4,460	4,437			
2029(令和11)	4,419		4,448	4,450	4,422			
2030(令和12)	4,403		4,437	4,440	4,406			
2031(令和13)	4,387		4,427	4,430	4,391			

相関係数	0.631798	0.000000	0.643506	0.642421	0.630699			
------	----------	----------	----------	----------	----------	--	--	--

注) 相関係数は、1.0に近いほど実績と推計値の計算上の相関が高いことを示す。
相関係数は参考であり、推計値の採否は実績傾向を確認して行う。



資図 5-2 単独処理浄化槽人口の推移

資表5-6 処理形態別人口の見込み

(単位：人)

	実績					見込み										
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
1 計画処理区域内人口	47,558	47,367	46,879	46,421	46,463	45,989	45,514	45,040	44,565	44,091	44,090	44,089	44,089	44,088	44,087	43,989
2 汚水衛生処理人口	40,043	40,034	39,697	39,328	39,343	38,918	38,471	38,023	37,574	37,124	37,147	37,168	37,190	37,209	37,229	37,151
(1) 公共下水道水洗化人口	23,943	23,895	23,490	23,281	23,311	23,191	23,079	22,963	22,845	22,729	22,595	22,458	22,317	22,173	22,033	21,865
(2) 農業集落排水処理人口	11,029	11,014	10,982	10,954	10,948	10,779	10,609	10,440	10,270	10,101	9,931	9,762	9,592	9,423	9,253	9,084
(3) コミュニティ・プラント人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4) 合併処理浄化槽人口	5,071	5,125	5,225	5,093	5,084	4,948	4,783	4,620	4,459	4,294	4,621	4,948	5,281	5,613	5,943	6,202
3 非水洗化人口	7,515	7,333	7,182	7,093	7,120	7,071	7,043	7,017	6,991	6,967	6,943	6,921	6,899	6,879	6,858	6,838
(1) 単独処理浄化槽人口	4,206	4,214	4,606	4,556	4,574	4,547	4,533	4,519	4,506	4,493	4,481	4,470	4,458	4,448	4,437	4,427
(2) 非水洗化（汲み取り）人口	3,309	3,119	2,576	2,537	2,546	2,524	2,510	2,498	2,485	2,474	2,462	2,451	2,441	2,431	2,421	2,411
4 自家処理人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚水衛生処理率（％）	84.2%	84.5%	84.7%	84.7%	84.7%	84.6%	84.5%	84.4%	84.3%	84.2%	84.3%	84.3%	84.4%	84.4%	84.4%	84.5%

資表5-7 汚泥量等の見込み

(単位：kℓ/年)

	実績					見込み										
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
生し尿	2,235	2,247	2,015	2,100	2,091	2,073	2,061	2,051	2,041	2,032	2,022	2,013	2,005	1,996	1,988	1,980
一般家庭浄化槽汚泥	5,083	4,936	5,182	4,594	4,255	4,193	4,114	4,036	3,959	3,881	4,020	4,159	4,301	4,443	4,584	4,694
農業集落排水	2,471	2,602	2,069	2,298	2,345	2,321	2,285	2,248	2,212	2,175	2,139	2,102	2,066	2,029	1,993	1,956
計	9,789	9,785	9,266	8,992	8,691	8,587	8,460	8,335	8,212	8,088	8,181	8,274	8,372	8,468	8,565	8,630

注) 実績値より、生し尿2.25ℓ/人・日、浄化槽汚泥1.21ℓ/人・日、農業集落排水0.59ℓ/人・日とします。